

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会

第 1 回馬事衛生専門委員会

期 日：令和 4 年 1 1 月 9 日（水）
時 間：午後 2 時から午後 3 時まで
場 所：県防災庁舎防 5 3 号室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

※名簿で紹介に代える。

4 説明事項

- (1) 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の概要
- (2) 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会準備経過
- (3) 宮崎県準備委員会決定事項

5 報告事項

いちご一会とちぎ国体における馬術競技会について

6 その他

- (1) 馬事衛生対策要項策定に向けた検討について
- (2) 馬事衛生業務に係る開催年までの準備スケジュール（案）について

7 閉 会



第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会
第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会



宮 崎 県 準 備 委 員 会

第 1 回 馬 事 衛 生 専 門 委 員 会

説 明 事 項

- (1) 第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 ・ 第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会 の 概 要 ・ ・ ・ P 2 ～ 6
- (2) 第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 ・ 第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 経 過 ・ ・ P 7 ～ 9
 - 【参考①】 第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 ・ 第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会
宮 崎 県 準 備 委 員 会 専 門 委 員 会 規 程 改 正 ・ ・ ・ ・ ・ P 10 ～ 13
 - 【参考②】 第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 ・ 第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会
開 催 内 定 に つ い て ・ ・ ・ ・ ・ P 14
- (3) 宮 崎 県 準 備 委 員 会 決 定 事 項 ・ ・ ・ ・ ・ 資 料 1 - ②



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ



令和 4 年 1 1 月 9 日 (水)

宮 崎 県 防 災 庁 舎 防 5 3 号 室

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の概要

1 第 8 1 回国民スポーツ大会

(1) 大会の目的

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするもの。

(2) 主 催

大 会：公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、宮崎県

各競技会：公益財団法人日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村

(3) 開催時期

令和 9 (2027) 年 9 月中旬～ 1 0 月中旬(11 日間以内)

(4) 実施競技

競技区分	競技名
正式競技 (37 競技)	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技 (1 競技)	高等学校野球（硬式・軟式）
公開競技 (7 競技)	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーション スポーツ (大会ごとに種目を決定)	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内に居住している者を対象として実施する競技 【参考】いきいき茨城ゆめ国体でのデモンストレーションスポーツ ウォーキング、パークゴルフ、スポーツウエルネス吹矢、ドッジボール、合気道、アームレスリング、ソフトバレーボールなど 3 1 競技を実施

(5) 競技会場地

P 4 参照

(6) 先催大会での参加者数（開・閉会式及び全競技参加者を含めた数） 単位：人・延べ人数

回(開催年)	開催県	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
72(2017)	愛媛県	87,680	113,861	521,850	723,391
73(2018)	福井県	101,717	116,921	386,448	605,086
74(2019)	茨城県	94,411	125,380	551,397	771,188
平均		94,602	118,720	486,565	699,888

※ 大会関係者：大会役員、競技会役員、補助員、式典出演者、報道員、視察員等

※ 先催 3 県の開会式参加者数平均：約 26,000 人 閉会式参加者数平均：約 14,000 人

2 第26回全国障害者スポーツ大会

(1) 大会の目的 (大会開催基準要綱より抜粋)

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与する。

(2) 主催

公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、宮崎県及び市町村並びにその他の関係団体

(3) 開催時期

令和9(2027)年 ※国民スポーツ大会の直後を原則として3日間で開催する。

(4) 実施競技

競技区分		競技名
正式競技 (14 競技)	個人競技 (7 競技)	陸上競技 (身体・知的)、水泳 (身体・知的) アーチェリー (身体)、卓球 (身体・知的・精神) フライングディスク (身体・知的) ボウリング (知的)、ボッチャ (身体)
	団体競技 (7 競技)	バスケットボール (知的)、 車いすバスケットボール (身体) ソフトボール (知的)、グランドソフトボール (身体) バレーボール (身体・知的・精神) サッカー (知的)、フットソフトボール (知的)
オープン競技 (大会ごとに種目を決定)		広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技 【参考】いきいき茨城ゆめ大会でのオープン競技 スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー、ブラインドテニス、車いすダンスなど6競技を実施

(5) 競技会場地

P 4 参照

(6) 先催大会での参加者数 (開・閉会式及び全競技参加者を含めた数) 単位：人・延べ人数

回(開催年)	開催県	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
16(2016)	岩手県	25,507	30,705	32,195	88,407
17(2017)	愛媛県	22,858	36,445	33,846	93,149
18(2018)	福井県	24,201	32,473	42,939	99,613
平均		24,188	33,207	36,326	93,723

※ 2019年開催予定の第19回大会(茨城県開催)は台風接近のため中止

※ 先催3県の開会式参加者数平均：約21,000人 閉会式参加者数平均：約18,000人

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【市町村別】

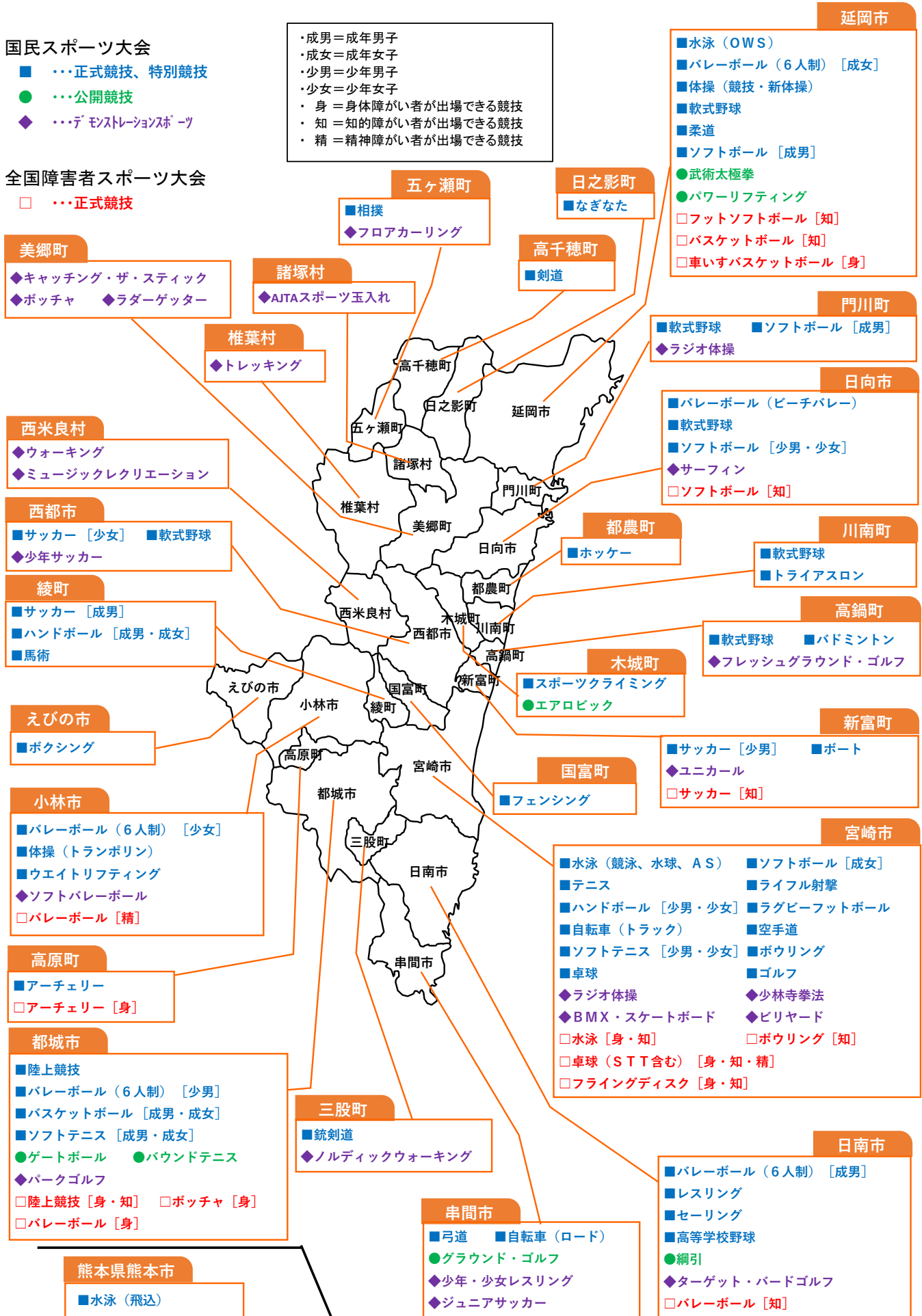
国民スポーツ大会

- …正式競技、特別競技
- …公開競技
- ◆ …デモンストレーションスポーツ

・成男=成年男子
 ・成女=成年女子
 ・少男=少年男子
 ・少女=少年女子
 ・身=身体障がい者が出場できる競技
 ・知=知的障がい者が出場できる競技
 ・精=精神障がい者が出場できる競技

全国障害者スポーツ大会

- …正式競技



1 正式競技[37競技]



2 特別競技[1競技]



3 公開競技[7競技]



第26回全国障害者スポーツ大会実施競技(正式競技)

1 正式競技[14競技]

(1)個人競技[7競技]



(2)団体競技[7競技]



第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画

①	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	西暦	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
	逆年	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	(開催5年前)	(開催4年前)	(開催3年前)	(開催2年前)	(開催1年前)	(開催年)	
	開催県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県(中止)	三重県(中止)	栃木県	[特別大会]鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県	宮崎県	
②	開催手続	開催内々定					県議会開催決議(R4.2)	開催内定		開催決定・会期決定		国スポリハーサル大会	
		開催要望書提出 (平成27年4月17日)			中央競技団体 正規視察			開催申請書提出 (文部科学省・日スポ協)		文部科学省・日スポ協 総合視察			障スポリハーサル大会
③	組織	準備委員会		国スポ・障スポ準備委員会						実行委員会			
		総会											
	全体計画	開催基本方針等			開催基本構想策定								
		開催準備総合計画		開催準備総合計画(2次)	開催準備総合計画(3次)		開催準備総合計画(4次)		開催準備総合計画(5次)				大会報告書
		会場地選定	会場地市町村選定基本方針	【国スポ】正式競技、特別競技、公開競技、開・閉会式 会場地市町村選定(数次)			【障スポ】正式競技 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)						
		経費負担	会場地市町村選定基準 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針	県及び会場地市町村の業務分担・経費負担項目									
		文化プログラム					文化プログラム基本方針		文化プログラム事業募集等(実施要項、募集、登録等)				文化プログラムの実施
	総務企画	行幸啓関係							警衛基本方針・基本計画		警衛等実施計画、日程等調整		日程最終調整
		総合案内							総合案内基本方針		総合案内準備の推進		総合案内
		募金・協賛					募金・企業協賛基本方針	募金基本計画			募金活動の推進		
競技・式典		競技施設整備基本方針	競技施設基準 競技施設整備調査				競技施設整備計画			企業協賛活動の推進			
競技運営	会場								競技施設及び式典会場整備の推進				
	情報通信						情報通信基本方針	情報通信基本計画		情報通信システムの調整		情報通信本部	
	競技運営	競技役員等養成基本計画 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針	競技役員等養成事業 公開競技実施基本方針 デモンストレーションスポーツ実施基本方針			記録業務基本方針		記録関係業務基本計画		競技役員等編成		総監督会議 記録本部 総合・競技別プログラム	
	競技用具		競技用具整備基本方針		競技用具整備要項	競技用具整備計画				競技用具整備の推進			
広報県民運動	広報	広報基本方針・基本計画						広報活動の推進(ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等)					
	県民運動	マスコットキャラクター、愛称・スローガン募集・決定						イメージソング等				全国報道者会議 報道本部	
	全国障害者スポーツ大会			会場地選定の進め方	正式競技(会場地選定)	オープン競技実施基本方針		オープン競技実施競技・会場地選定		競技用具整備		大会実施本部	
宿泊衛生	献立・弁当				宿泊基本方針	宿泊基本計画		宿泊施設等基礎調査		宿泊要項		宿泊本部	
	食品衛生								宿泊準備の推進(総合配宿計画、宿泊施設充足対策、宿泊料金等)				
	環境衛生				医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画			食事の提供準備の推進、弁当の提供準備の推進				
	輸送交通				輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画		輸送・交通基礎調査 輸送・交通業務指針		輸送・交通総合調査		輸送本部	
式典	開・閉会式等				式典基本方針	式典基本構想		式典基本計画		式典実施計画		式典本部	
	式典								式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火イベント、リハーサル等)				
医療救護	医療救護								医療救護対策の推進・防疫対策の推進		救護本部・救護所		
馬事衛生	馬事衛生								馬事衛生対策の推進		馬事衛生対策本部		
警備消防	警備・消防						警備・消防防災基本方針	警備・消防防災基本計画		警備・消防防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)		警備本部 消防・防災本部	
④	準備組織等	市町村	市町村担当者会議					会場地市町村国スポ・障スポ準備委員会(随時設置)		会場地市町村国スポ・障スポ実行委員会		市町村競技会実施本部	
		競技団体	競技団体担当者会議	競技運営計画・競技役員等養成計画の作成						競技役員等養成の推進			

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成27年 1月14日	公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）臨時理事会及び評議員会において、「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致」を決議
2月12日	県体協が県、県議会及び県教育委員会に「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
2月25日	知事が県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
3月13日	県議会2月定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
3月16日	定例教育委員会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を議決
4月17日	知事が文部科学省に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」と「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出 知事が公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」を、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
6月11日	日体協第1回国体委員会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出順序了解県」として承認
7月22日	日体協第3回理事会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出県」として了解（宮崎県開催が内々定）
平成29年10月30日	第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
11月14日	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
11月17日	第1回競技運営専門委員会を開催
12月14日	第1回市町村担当者会議及び第1回競技団体担当者会議を開催
平成30年 5月22日	第2回総務企画専門委員会を開催
7月 9日	第2回常任委員会及び第2回総会を開催
7月24日	第1回広報・県民運動専門委員会を開催
7月31日	第2回市町村担当者会議及び第2回競技団体担当者会議を開催
10月29日	第3回総務企画専門委員会を開催
12月19日	第2回競技運営専門委員会及び第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成31年 1月31日	第3回常任委員会を開催
2月 6日	第4回総務企画専門委員会を開催
3月15日	第3回市町村担当者会議及び第3回競技団体担当者会議を開催

年 月 日	内 容
令和元年 5月30日	第5回総務企画専門委員会を開催
7月 1日	第4回常任委員会及び第3回総会を開催 「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
7月 9日	第3回広報・県民運動専門委員会を開催
8月 2日	第1回開催基本構想策定検討部会を開催
8月28日	第4回市町村担当者会議及び第4回競技団体担当者会議を開催
11月12日	第6回総務企画専門委員会を開催
12月16日	第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月17日	第2回開催基本構想策定検討部会を開催
12月20日	第5回市町村担当者会議及び第5回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
令和2年 1月16日	第1回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
1月31日	第7回総務企画専門委員会を開催
2月 5日	第4回広報・県民運動専門委員会を開催
2月 7日	第3回開催基本構想策定検討部会を開催
2月17日	第5回常任委員会を開催
3月18日	第6回市町村担当者会議及び第6回競技団体担当者会議（資料配付のみ）
6月25日	第8回総務企画専門委員会を開催
6月25日	第2回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
7月 6日	第6回常任委員会を開催
9月18日	第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
8月 7日	第4回総会を開催（書面開催）
8月20日	第7回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）
8月24日	第7回競技団体担当者会議を開催
9月24日	第3回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
10月15日	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和9年（2027年）に変更され、開催申請書提出順序了解県（内々定県）として再決定
11月 9日	第5回広報・県民運動専門委員会を開催
12月18日	第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月23日	第1回輸送・交通専門委員会を開催
12月24日	第3回競技運営専門委員会を開催
令和3年 1月22日	第9回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
2月15日	第7回常任委員会を開催（書面開催）
3月18日	第6回広報・県民運動専門委員会を開催
3月22日	第8回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）

年 月 日	内 容
3月23日	第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
6月 8日	第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
6月 9日	第10回総務企画専門委員会を開催
7月 5日	第8回常任委員会を開催
8月 6日	第5回総会を開催（書面開催）
10月11日	第9回市町村担当者会議・第8回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
11月22日	第2回輸送・交通専門委員会を開催
12月15日	第4回競技運営専門委員会を開催
12月17日	第2回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月20日	第11回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第5回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
令和4年 2月14日	第9回常任委員会を開催（書面開催）
3月16日	県議会2月定例会において「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催」を決議
3月17日	第1回式典専門委員会を開催
3月22日	第7回広報・県民運動専門委員会を開催
4月25日	第10回市町村担当者会議を開催
6月 1日	文部科学省及び日本スポーツ協会に「第81回国民スポーツ大会開催申請書」を提出
7月12日	第12回総務企画専門委員会を開催
7月14日	日本スポーツ協会第3回理事会において、「第81回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が内定（国スポ内定に伴い第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が併せて内定）
8月22日	第10回常任委員会を開催
8月31日	第8回広報・県民運動専門委員会を開催
9月16日	第6回総会を開催（書面開催）
10月25日	第5回競技運営専門委員会を開催

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会専門委員会規程改正

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会専門委員会規程を次のとおり改正する。

1 改正の理由

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催準備を効率的に推進するため、宿泊・衛生専門委員会を「宿泊・衛生専門委員会」、「医療救護専門委員会」及び「馬事衛生専門委員会」に再編、施設整備専門委員会を「総務企画専門委員会」に統合し、その他所要の改正を行う。

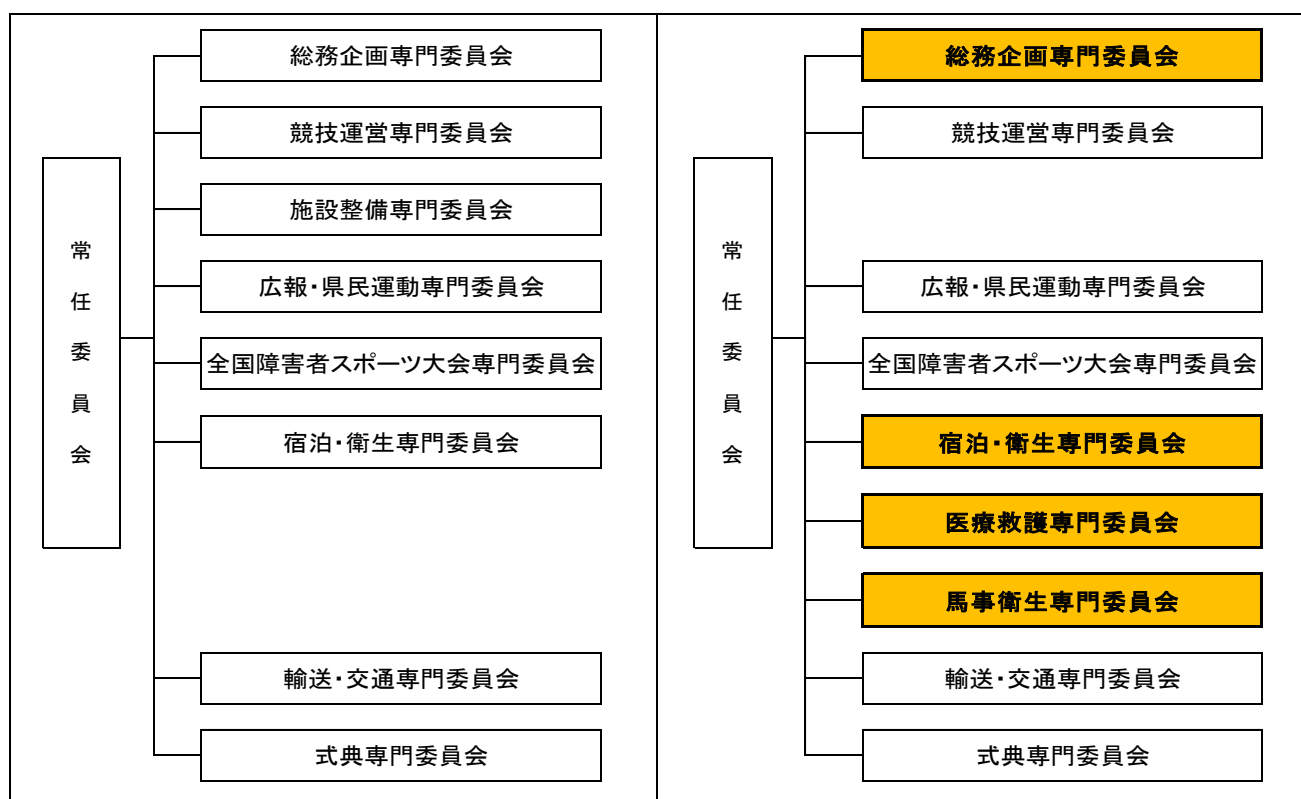
2 改正の内容

別紙のとおり

<参考> 宮崎県準備委員会 構成図

< 現行 >

< 改正後 >



第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会則第 1 4 条第 3 項の規定に基づき、専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の種類等)

第 2 条 委員会の種類並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第 3 条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1 名

(2) 副委員長 1 名

2 委員長及び副委員長は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会長(以下「会長」という。)が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

第 5 条 委員会は、運営上必要があるときは、部会を設けることができる。

2 部会の委員は、会長が委嘱する。

3 部会に関する事項は、委員長が定める。

(委任)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成 2 9 年 1 0 月 3 0 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 3 0 年 7 月 9 日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 7 月 6 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 3 年 2 月 1 5 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 2 月 1 4 日から施行する。

別表（第2条関係）

委員会名	付託事項	委任事項
総務企画専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の立案に関すること。 2 会場地選定に関すること（デモンストレーションスポーツ、オープン競技を除く）。 3 県及び会場地市町村の業務分担に関すること。 4 <u>競技施設、開・閉会式会場及び関連施設の基本的事項に関すること。</u> 5 他の専門委員会に属さない重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の推進に関すること。 2 文化プログラムに関すること。 3 <u>競技施設、開・閉会式会場及び関連施設に関すること。</u> 4 他の専門委員会に属さない事項に関すること。
競技運営専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技運営等の基本的事項に関すること。 2 競技運営に係る計画の立案に関すること。 3 競技用具の整備計画の事項に関すること。 4 デモンストレーションスポーツの実施競技及び会場地市町村の選定に関すること。 5 その他の競技運営に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技運営に係る計画の推進に関すること。 2 競技役員等の養成及び編成に関すること。 3 競技用具整備の推進に関すること。 4 デモンストレーションスポーツに関すること（実施競技及び会場地市町村選定を除く）。 5 リハーサル大会に関すること。 6 競技記録に関すること。 7 その他競技運営に関すること。
広報・県民運動専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報の基本的事項に関すること。 2 県民運動の基本的事項に関すること。 3 その他広報及び県民運動に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報及び啓発の実施に関すること。 2 県民運動の推進に関すること。 3 愛称・スローガン、マスコット等に関すること。 4 報道機関との調整に関すること。 5 記録映像及び記録写真に関すること。 6 その他広報及び県民運動に関すること。
全国障害者スポーツ大会専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国障害者スポーツ大会の競技運営に係る計画の立案に関すること。 2 オープン競技の実施競技及び会場地市町村の選定に関すること。 3 その他全国障害者スポーツ大会に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国障害者スポーツ大会の競技運営に係る計画の推進に関すること。 2 その他全国障害者スポーツ大会に関すること（他の専門委員会の委任事項は除く）。

委員会名	付託事項	委任事項
宿泊・衛生専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>宿泊及び衛生の基本的事項に関すること。</u> 2 <u>その他宿泊及び衛生に係る重要な事項に関すること。</u> 	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>宿泊及び衛生に係る計画の推進に関すること。</u> 2 <u>その他宿泊及び衛生に係る事項の推進に関すること。</u>
医療救護専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>医療救護の基本的事項に関すること。</u> 2 <u>その他医療救護に係る重要な事項に関すること。</u> 	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>医療救護に係る計画の推進に関すること。</u> 2 <u>その他医療救護に係る事項の推進に関すること。</u>
馬事衛生専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>馬事衛生の基本的事項に関すること。</u> 2 <u>その他馬事衛生に係る重要な事項に関すること。</u> 	<ol style="list-style-type: none"> 1 <u>馬事衛生に係る計画の推進に関すること。</u> 2 <u>その他馬事衛生に係る事項の推進に関すること。</u>
輸送・交通専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送及び交通の基本的事項に関すること。 2 その他輸送・交通に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国輸送に関すること。 2 開・閉会式の輸送に関すること。 3 競技会場地の輸送に関すること。 4 その他輸送及び交通に関すること。
式典専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 式典の基本的事項に関すること。 2 その他式典に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式の企画及び運営に関すること。 2 式典音楽に関すること。 3 式典演技に関すること。 4 大会旗・<u>炬火イベント</u>に関すること。 5 その他式典に関すること。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 2 0 2 7 年宮崎県開催が内定となりました！！

令和 4 年 7 月 1 4 日（木）に開催されました公益財団法人日本スポーツ協会主催の第 3 回理事会において、令和 9 年（2 0 2 7 年）の第 8 1 回国民スポーツ大会の本県開催が内定しました。

理事会では、同協会の伊藤雅俊会長から河野俊嗣知事に対して、「開催内定書」が手渡されました。

また、第 8 1 回国民スポーツ大会の内定をもって、第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の開催も内定することから、公益財団法人日本パラスポーツ協会を表敬訪問し、大会開催への協力を要請しました。

【第 8 1 回国民スポーツ大会開催内定書受領】 【(公財) 日本パラスポーツ協会表敬訪問】



【(公財) 日本スポーツ協会における記者会見の様子】



※会見後、滋賀県（同日 2 0 2 5 年開催決定）からきたチャッピー、キャッピーとも仲良く記念撮影しました！

第 8 1 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会 ・
第 2 6 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会



宮 崎 県 準 備 委 員 会



決定事項



つむぎ 感動 神話 となれ

日本のひなた **宮崎** 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会



第26回全国障害者スポーツ大会

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会

宮崎県準備委員会 決定事項

目 次

(1) 各専門委員会が所管する方針等

【総務企画専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 会場地市町村選定基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- [国スポ・障スポ] 会場地市町村選定基準・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- [国スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針・・・・・・・・ P 4
- [国スポ] 競技施設整備基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- [国スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目・・・・・・・・ P 6
- [国スポ] 実施競技選択基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 8
- [障スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針・・・・・・・・ P 1 9
- [国スポ・障スポ] 募金・企業協賛基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 2
- [国スポ・障スポ] 募金基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 3
- [国スポ・障スポ] 文化プログラム実施基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 5
- [国スポ・障スポ] 開催基本構想・・・・・・・・・・・・・・・・ 別添

【競技運営専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 競技役員等編成基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 6
- [国スポ・障スポ] 競技役員等養成基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 8
- [国スポ] 競技役員等養成基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2 9
- [国スポ] 競技運営基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 1
- [国スポ] 競技用具整備基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 2
- [国スポ] 公開競技実施基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 3
- [国スポ] デモンストレーションスポーツ実施基本方針・・・・・・・・ P 3 4
- [国スポ] 審判員・要資格運営員養成計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 5

【広報・県民運動専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 広報基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 9
- [国スポ・障スポ] 広報基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 0
- [国スポ・障スポ] 県民運動基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 2
- [国スポ・障スポ] 県民運動基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 3

【全国障害者スポーツ大会専門委員会】

- [障スポ] 競技役員等養成基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 4

【宿泊・衛生専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 宿泊基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 6
- [国スポ・障スポ] 医事・衛生基本方針・・・・・・・・・・・・ P 4 7
- [国スポ・障スポ] 宿泊基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4 8
- [国スポ・障スポ] 医事・衛生基本計画・・・・・・・・・・・・ P 5 0

【輸送・交通専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 輸送・交通基本方針・・・・・・・・・・・・ P 5 2
- [国スポ・障スポ] 輸送・交通基本計画・・・・・・・・・・・・ P 5 4

【式典専門委員会】

- [国スポ・障スポ] 式典基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 8

(2) 資料

- 県準備委員会会則・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5 9
- 開催基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6 3
- 県準備委員会委員等一覧・・・・・・・・・・・・ P 6 4
- 県準備委員会構成図・・・・・・・・・・・・ P 6 5
- 県準備委員会専門委員会規程・・・・・・・・・・・・ P 6 6

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会における会場地は、地方スポーツの普及・振興と地方文化の発展に寄与することを目的とする国民スポーツ大会の趣旨及び第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次のとおり選定する。

- 1 会場地は、県内それぞれの地域に根ざしたスポーツ文化活動の振興を図るため、地域バランスに配慮して、可能な限り県内各地に分散する。
- 2 同一競技は、同一市町村で行うことを原則とするが、2 市町村以上で開催する場合は可能な限り近隣市町村で行う。
- 3 会場地の選定に当たっては、市町村における開催希望、当該希望競技に係る各種競技会の開催実績、開催準備、大会運営、実施競技団体の意向、競技施設の状況、宿泊受入能力、交通の利便性、その他地域振興等を考慮し、総合的に判断する。
- 4 全国障害者スポーツ大会の競技会場については、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱に基づき、原則として第 8 1 回国民スポーツ大会の会場を使用するものとする。
- 5 全国障害者スポーツ大会の会場地は、選手等の負担軽減の観点を考慮する。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定基準

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）における会場地市町村は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次により選定する。

1 選定の対象

正式競技と特別競技の会場地市町村とする。

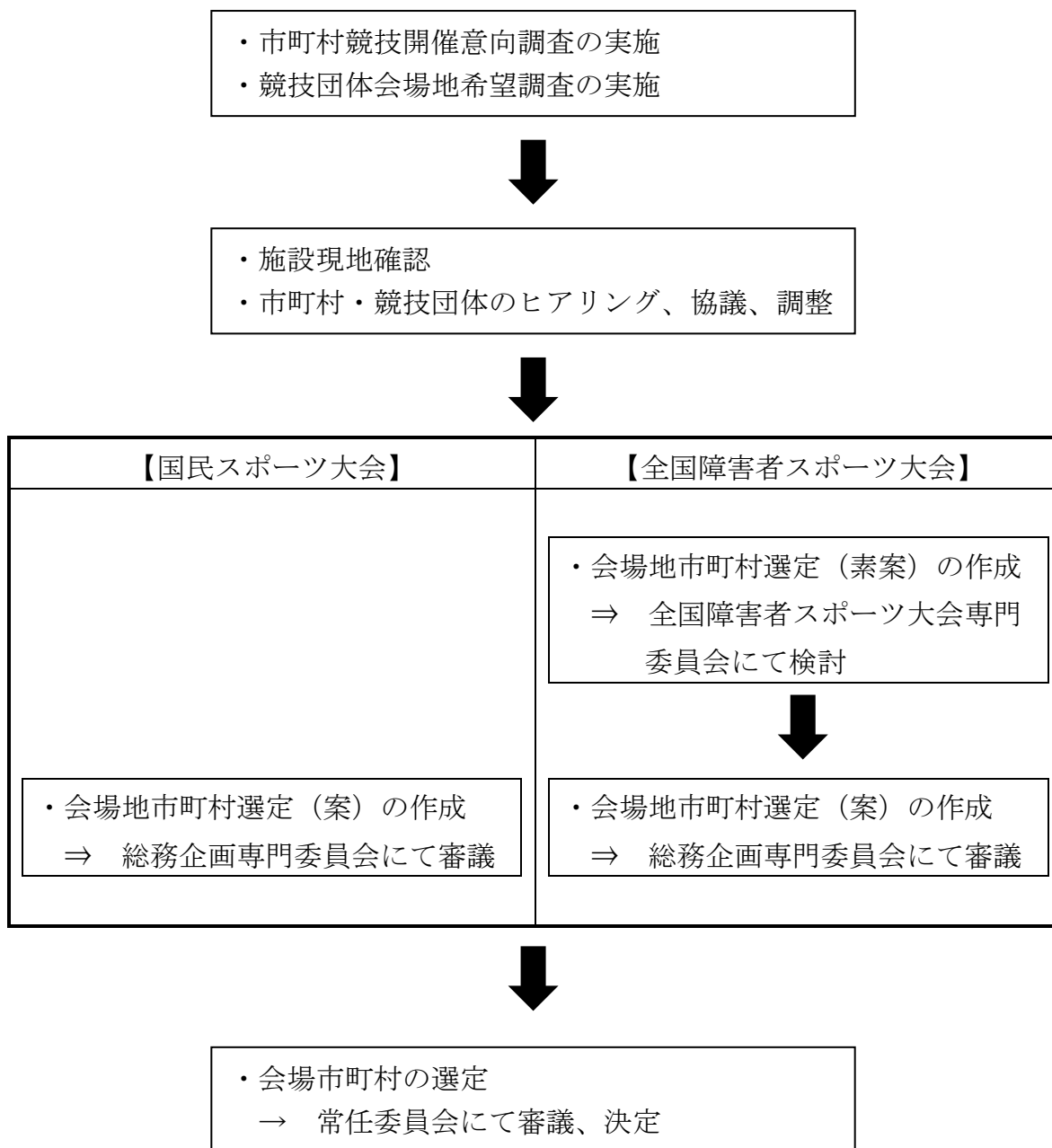
なお、公開競技、デモンストレーションスポーツ、全国障害者スポーツ大会のオープン競技については、別途選定する。

2 選定の基準

次の基準により、総合的な判断、評価のもとに選定する。

- (1) 施設所有者の同意を前提として、市町村の開催希望と競技団体の意向が原則として合致していること。
- (2) 同一競技を複数の市町村に分けて実施する場合は、大会運営に支障をきたさないこと。
- (3) 競技施設は、「国民体育大会開催基準要項細則（公益財団法人日本スポーツ協会）」で定める施設基準（以下「施設基準」という。）を踏まえ、施設の新設・改修等に当たっては、大会開催後の地域スポーツ振興への有効的な活用を考慮すること。
なお、施設の状況等によっては、施設基準の弾力的な運用を関係機関に対し要請する。
- (4) 競技役員等の確保、付帯施設（観客席、駐車場、練習会場等）の整備、各種競技会の開催実績、地域住民ボランティアとしての参画など大会運営に必要な環境や体制が十分整えられること。
- (5) 選手・役員への輸送及び交通手段並びに宿舎を確保できること。

[参考] 選定の手続き (概要)



第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の開催に当たり、県及び会場地市町村は、次の基本方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

1 県が分担する業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な総合調整、連絡及び指導に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備・運営に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる県有施設・設備の整備に関する業務を分担し、経費を負担する。

2 会場地市町村が分担する業務と負担する経費

- (1) 競技会の会場地として必要な業務の計画策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な調査、連絡及び調整に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (2) 競技会の表彰式の実施及び競技会実施本部の運営等、競技会実施の準備・運営に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる市町村有の施設・設備の整備に関する業務を分担し、経費を負担する。

3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担、経費負担の細目については、別に定める。

第 8 1 回国民スポーツ大会競技施設整備基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技施設は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、「国民体育大会開催基準要項（公益財団法人日本スポーツ協会）」が定める施設基準を尊重し、次のとおりとする。

- 1 競技施設は、可能な限り県内の既存施設を活用する。
- 2 施設基準等の弾力的な運用を関係機関に要請するとともに、やむを得ず施設整備を行う場合は、真に必要な施設に限定し、大会終了後においても地域住民に広く活用されるよう配慮する。
- 3 施設整備に当たっては、競技運営に支障がないよう、計画の段階から当該競技団体及び関係機関と十分協議するとともに、ユニバーサルデザインへの対応に努め、自然・環境・景観に十分配慮する。

第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担細目

「第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」に基づき、業務分担・経費負担の細目を次のとおり定める。

- 1 県及び会場地市町村の業務分担の細目は、別表のとおりとする。
- 2 県及び会場地市町村の経費負担の細目は、それぞれ業務分担の細目による業務に必要な経費とする。
- 3 この細目に定めのない事項で必要なものについては、県と会場地市町村が協議の上、決定する。

1 総務企画

(1) 総務関係

細 目	県	会 場 地 市 町 村
総合計画	1 開催基本方針の決定 2 開催準備総合計画の策定 3 開催基本構想の策定	1 会場地市町村における開催準備計画の策定
準備（実行）委員会	1 県準備（実行）委員会の設置及び運営 2 県準備（実行）委員会事務局の運営 3 会場地市町村準備（実行）委員会の設置に関する助言	1 会場地市町村準備（実行）委員会の設置及び運営 2 会場地市町村準備（実行）委員会事務局の運営
会場地選定	1 会場地市町村選定基本方針の決定 2 会場地市町村選定基準の作成 3 開・閉会式会場及び会場地市町村の選定	1 競技会場及び練習会場等の調査
実施本部	1 大会実施本部の設置及び運営	1 競技会実施本部の設置及び運営
文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）、中央競技団体等との連絡調整	1 文部科学省、日本スポーツ協会及び中央競技団体等との連絡調整 2 中央競技団体正規視察の連絡調整 3 文部科学省、日本スポーツ協会総合視察の連絡調整 4 日本スポーツ協会に対する承認事項の協議及び報告事項の調整	1 関係中央競技団体との連絡調整 2 関係中央競技団体正規視察に対する資料作成及び対応 3 文部科学省、日本スポーツ協会総合視察に対する資料作成及び対応
県内関係機関・団体等との連絡調整	1 市町村との連絡調整 2 県体育協会及び県競技団体との連絡調整	1 県との連絡調整 2 市町村体育協会及び関係県競技団体との連絡調整 3 関係会場地市町村との連絡調整
関係機関・団体等に対する協力要請	1 関係機関・団体等に対する協力要請計画の策定及び連絡調整 2 関係機関・団体等への協力要請	1 会場地市町村における関係機関・団体等に対する協力要請及び連絡調整
大会役員等	1 大会役員及び競技会役員の編成基準の作成 2 大会役員、大会係員及び大会補助員の編成並びに委嘱 3 大会役員、大会係員及び大会補助員の委嘱状、案内状、礼状等の作成並びに配布 4 大会係員等の必携の作成及び配布	1 競技会役員の編成並びに委嘱 2 競技会役員の委嘱状、案内状、礼状等の作成並びに配布
招待者等	1 大会招待者及び競技会招待者の範囲の決定	1 競技会招待者の範囲案の作成 2 競技会招待者名簿の作成

	<ul style="list-style-type: none"> 2 大会招待者名簿の作成 3 招待券及び視察員証の発行 4 大会招待者の招待及び接遇 	<ul style="list-style-type: none"> 3 会場地市町村関係招待券の配布 4 競技会招待者の招待及び接遇
参加章等	<ul style="list-style-type: none"> 1 参加章、記念章の意匠決定及び取扱要項の作成 2 参加章、記念章、視察員章及び報道員章の作成並びに配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会関係者に対する参加章等の配布 2 競技会記念章等の作成及び配布
服飾	<ul style="list-style-type: none"> 1 大会役員、大会係員、大会補助員及び報道員の服飾の調製並びに配布 2 開・閉会式に参加する競技役員の服飾の調製及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会役員、競技会係員及び競技会補助員の服飾の調製並びに配布 2 競技役員及び競技補助員の服飾の調製並びに配布
報告書等	<ul style="list-style-type: none"> 1 県準備概要等の作成及び配布 2 大会報告書の作成及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 市町村準備概要の作成及び配布 2 競技会報告書の作成及び配布 3 大会報告書の作成資料の提供及び協力
開催申請	<ul style="list-style-type: none"> 1 開催申請書の作成及び提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 開催申請書の作成協力
各種全国会議	<ul style="list-style-type: none"> 1 全国代表者会議、総監督会議及び全国報道者会議等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別監督会議の開催
自衛隊協力要請等	<ul style="list-style-type: none"> 1 自衛隊協力要請計画の策定 2 自衛隊との協議及び協力協定の締結 3 自衛隊協力に対する業務計画策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 自衛隊協力に対する業務計画の策定 2 競技会の自衛隊協力の受入れ

(2) 財務関係

細目	県	会場地市町村
予算編成等	<ul style="list-style-type: none"> 1 大会関係予算の編成、執行及び決算 2 大会開催に関する予算の編成及び決算 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における国スポ予算の編成、執行及び決算 2 大会開催に関する予算編成の協力
国スポ募金・企業協賛	<ul style="list-style-type: none"> 1 国スポ募金・企業協賛推進基本方針の決定及び計画の策定 2 国スポ募金・企業協賛の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1 県が実施する国スポ募金・企業協賛への協力
入場料・入場券	<ul style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式及び競技会入場料金の決定 2 開・閉会式入場券の作成及び販売 3 競技会入場券販売の協力 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会入場料金案の作成 2 競技会入場券の作成及び販売 3 開・閉会式入場券販売の協力
プログラム販売	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合プログラムの販売 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別プログラムの販売
売店	<ul style="list-style-type: none"> 1 売店設置要項の作成 2 開・閉会式会場地内の売店設置に関する指導及び規制 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会場地内の売店設置に関する指導及び規制
標章等	<ul style="list-style-type: none"> 1 標章等の使用規程の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 標章等の使用許可申請に関する指導

	2 標章等の使用許可申請の受付及び許可	
--	---------------------	--

(3) 文化プログラム関係

細目	県	会場地市町村
文化プログラム	1 文化プログラム基本方針の決定及び実施計画の策定 2 文化プログラム実施事業の選定 3 県における文化プログラム事業の企画及び実施 4 広報リーフレット、ポスターの作成及び配布	1 会場地市町村における文化プログラム実施計画の策定 2 会場地市町村における文化プログラム事業の企画及び実施

(4) 行幸啓関係

細目	県	会場地市町村
行幸啓	1 行幸啓本部の設置及び運営 2 行幸啓計画の策定 3 接伴計画の策定及び接伴の実施 4 御泊所、御休憩所、御座所等の整備及び指導 5 宮内庁、日本スポーツ協会及び市町村等関係機関との連絡調整 6 行幸啓記録の編さん 7 行幸啓に関する報道についての連絡調整 8 警衛基本方針の決定及び計画等の策定 9 警衛本部の設置及び運営	1 行幸啓計画策定資料の提出 2 会場地市町村における接伴計画の策定及び接伴の実施 3 会場地市町村における御休憩所、御座所等の整備

(5) 歓迎・案内関係

細目	県	会場地市町村
接伴・接遇	1 総合案内基本方針の決定 2 開・閉会式における大会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画の策定及び実施 3 会場地市町村における競技会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画策定に関する助言 4 総合案内所及び開・閉会式会場における休憩所の設置及び運営 5 接伴員の手引きの作成及び配布	1 会場地市町村における競技会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画の策定及び実施 2 総合案内所及び開・閉会式会場における休憩所運営の協力 3 会場地市町村における案内所・休憩所の設置及び運営 4 会場地市町村における接伴員及び案内所員の編成並びに研修会の実施

	6 開・閉会式における接伴員及び案内所員の編成並びに研修会の実施	
歓迎装飾	1 歓迎装飾基本計画の策定 2 開・閉会式会場内外の歓迎装飾の設置等	1 会場地市町村における歓迎装飾の設置等
観光紹介等	1 県内観光地及び物産等の紹介 2 観光ガイドブック等の作成及び配布 3 特産品、土産品の紹介及び販売指導	1 会場地市町村における観光地及び物産等の紹介 2 会場地市町村の観光ガイドブック等の作成及び配布 3 会場地市町村の特産品、土産品の紹介及び販売指導
資料袋	1 資料袋の作成及び配布	1 会場地市町村における資料袋の配布

2 競技施設

(1) 競技・式典会場関係

細目	県	会場地市町村
競技施設等	1 競技施設整備基本方針の決定 2 競技施設整備計画の策定 3 競技施設基準の策定 4 競技会場及び練習会場の選定 5 競技会場及び練習会場となる県有施設の整備計画の策定並びに整備 6 開・閉会式会場の仮設施設の整備	1 競技会場及び練習会場の選定協力 2 競技会場及び練習会場となる市町村有施設の整備計画の策定並びに整備 3 競技会場及び練習会場の仮設施設の整備 4 競技会場及び練習会場となる民間施設等の連絡調整
駐車場	1 開・閉会式のための駐車場の確保 2 競技会場のための駐車場の確保の協力	1 競技会場のための駐車場の確保 2 開・閉会式のための駐車場の確保の協力
施設概要	1 施設概要の作成及び配布	1 施設概要の作成資料の提供
会場管理	1 開・閉会式会場管理基本方針の決定及び計画の策定 2 開・閉会式会場内外の装飾、案内標識等の設置及び環境整備 3 開・閉会式会場の運営及び管理 4 開・閉会式会場美化計画の策定及び実施	1 競技会場管理計画の策定 2 競技会場内外の装飾、案内標識等の設置及び環境整備 3 競技会場の運営及び管理 4 競技会場美化計画の策定及び実施

(2) 情報通信関係

細目	県	会場地市町村
情報通信計画	1 情報通信基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における情報通信計画	1 会場地市町村における情報通信計画の策定

	策定に関する助言 3 情報通信関係機関との連絡調整	
情報通信施設の架設・運営	1 開・閉会式に必要な情報通信施設架設計画の策定 2 開・閉会式に必要な情報通信施設の架設及び運営 3 県記録本部と競技会場間の情報通信施設の架設及び運営 4 総合案内所の情報通信施設の架設及び運営	1 会場地市町村における情報通信施設架設計画の策定 2 会場地市町村における情報通信施設の架設及び運営

3 競技運営

細目	県	会場地市町村
実施要項等	1 大会実施要項の作成及び配布 2 競技別実施要項の作成に関する助言	1 競技別実施要項の作成及び配布
参加申込	1 参加申込書の作成及び配布 2 参加申込書の受付、整理及び会場地市町村との連絡調整	1 競技別参加申込書の受付、整理及び県との連絡調整
競技運営	1 実施競技選択基本方針の決定 2 競技運営基本方針の決定 3 競技運営の総括、連絡調整及び助言	1 競技運営計画の策定 2 競技の運営
競技役員等	1 競技役員等編成基本方針の決定 2 競技役員等養成基本方針の決定及び計画の策定 3 競技役員及び競技補助員の編成並びに養成 4 競技役員等必携の作成に関する助言 5 県外競技役員数の決定及び旅費基準の作成	1 競技役員及び競技補助員の編成原案の作成 2 競技役員及び競技補助員の養成への協力 3 競技会係員及び競技会補助員の編成並びに養成 4 競技役員、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の委嘱状、礼状等の作成並びに配布 5 競技役員等の必携の作成及び配布
プログラム	1 総合プログラム・競技別プログラム編成方針の決定 2 総合プログラムの作成及び配布 3 競技別日程表及び競技組合せ一覧表の作成並びに配布 4 競技別プログラムの作成に関する助言	1 競技別プログラムの作成及び配布 2 総合プログラム、競技別日程表及び競技組合せ一覧表の作成協力
競技記録	1 競技記録本部の設置及び運営 2 記録業務基本方針の決定及び計画の策定	1 競技記録本部への情報通信体制の整備 2 競技別記録の収集及び速報

	<ul style="list-style-type: none"> 3 競技記録の収集速報計画の策定 4 競技記録の収集・整理及び発表 5 記録本部員、補助員の編成及び養成 6 記録係員必携の作成に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 3 会場地市町村における記録係員、補助員の編成及び養成 4 記録係員必携の作成
総合成績	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合成績の得点計算及び順位決定 2 総合成績計算係員及び補助員の養成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別成績の得点計算及び順位決定並びに競技記録本部への報告 2 競技別成績計算係員及び補助員の養成
表彰状等	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合成績に係る表彰状作成及び交付 2 競技別表彰状、賞状の作成及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別表彰状、賞状の交付
競技別リハーサル大会	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別リハーサル大会開催基準要項の策定 2 競技別リハーサル大会の開催に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別リハーサル大会実施計画の策定 2 競技別リハーサル大会の実施
公開競技	<ul style="list-style-type: none"> 1 公開競技実施基本方針の決定 2 公開競技の選定 3 公開競技開催申請書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 公開競技の実施
デモンストレーションスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 1 デモンストレーションスポーツ実施基本方針の決定 2 デモンストレーションスポーツの選定 3 デモンストレーションスポーツ実施申請書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 デモンストレーションスポーツの実施計画の策定 2 デモンストレーションスポーツの実施
競技用具等	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技用具整備基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における競技用具整備計画等の策定に関する助言 3 競技用具の規格、数量調査及び基礎調査の実施 4 競技会場及び練習会場となる県有施設の競技用備品の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における競技用具整備計画等の策定 2 競技用具の基礎調査に関する協力 3 競技会場及び練習会場となる市町村有施設の競技用備品の整備 4 競技会場及び練習会場となる施設の競技用消耗品、運営用備品並びに運営用消耗品の整備

4 広報・県民運動

(1) 広報関係

細目	県	会場地市町村
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 1 広報基本方針の決定及び計画の策定 2 大会愛称、スローガン、マスコット等の決定及び普及 3 ポスター、ガイドブック、リーフレット等各種広報媒体物の作成及び管理 4 広告塔等宣伝工作物の設置及び管理 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における広報計画の策定 2 大会愛称、スローガン、マスコット等の普及 3 県発行各種広報媒体物の配布協力 4 会場地市町村における各種広報媒体

	<ul style="list-style-type: none"> 5 インターネット、新聞、テレビ、ラジオ等による広告の実施 6 イメージソング等の制定及び普及 	<ul style="list-style-type: none"> 物の作成及び管理 5 会場地市町村における各種宣伝工作物の設置及び管理 6 会場地市町村におけるインターネット、新聞、テレビ、ラジオ等による広告の実施 7 イメージソング等の普及
報道対応	<ul style="list-style-type: none"> 1 報道機関との連絡調整 2 開・閉会式等における報道機関の取材活動に対する協力 3 報道員ハンドブックの作成及び配布 4 航空規制計画の策定及び実施 5 報道本部の設置及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における報道機関との連絡調整 2 会場地市町村における報道機関の取材活動に対する協力
記録映像等	<ul style="list-style-type: none"> 1 記録映像等の作成及び管理 2 大会記録写真の撮影及び記念写真集の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技等記録映像撮影及び撮影の協力 2 競技会記録写真の撮影 3 記録写真集作成の協力
記念行事	<ul style="list-style-type: none"> 1 県記念行事の計画策定及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における記念行事の計画策定及び実施

(2) 県民運動関係

細 目	県	会 場 地 市 町 村
県民運動	<ul style="list-style-type: none"> 1 県民運動基本方針の決定及び計画の策定 2 全県的な県民運動の推進 3 県民運動推進のための各種媒体物の作成及び配布 4 県民運動実践団体の育成及び助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における県民運動推進計画の策定 2 会場地市町村における県民運動の推進 3 会場地市町村における県民運動推進のための各種媒体物の作成及び配布 4 会場地市町村における県民運動実践団体の育成及び助言
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式等の運営に係るボランティアの募集及び養成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会等の運営に係るボランティアの募集及び養成

5 式典

細 目	県	会 場 地 市 町 村
開・閉会式等	<ul style="list-style-type: none"> 1 式典基本方針の決定及び計画の策定 2 式典基本構想の策定 3 開・閉会式運営要項の作成 4 開・閉会式進行計画の策定 5 係員編成計画の策定及び係員の編成 6 開・閉会式の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会表彰式実施要項の作成及び実施 2 競技会表彰式進行計画の策定 3 開・閉会式の実施協力

式典演技	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典演技基本計画の策定及び実施要項の作成並びに実施 式典演技出演者の編成及び養成 式典演技の手具及び用具等の整備並びに服飾等の調製 	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典演技の実施の協力 式典演技出演者の編成及び養成への協力
式典音楽	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典音楽基本計画の策定及び実施要項の作成並びに実施 開・閉会式における式典音楽隊、合唱隊の編成及び養成 開・閉会式における式典音楽隊の楽器の整備及び服飾等の調製 	<ol style="list-style-type: none"> 競技会表彰式における式典音楽計画の策定及び式典演奏の実施 競技会表彰式における式典音楽隊の編成及び養成 競技会表彰式における式典音楽隊の楽器の整備及び服飾等の調製 開・閉会式における式典音楽隊の楽器の整備に関する協力
式典放送	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典放送計画の策定及び実施 開・閉会式会場内の臨時放送施設の整備 開・閉会式式典アナウンサー等放送係員の選定及び養成 	<ol style="list-style-type: none"> 競技会場内放送計画の策定及び実施 競技会場内の臨時放送施設の整備 会場地市町村におけるアナウンサー等放送係員の選定及び養成
大会旗・ 炬火リレー	<ol style="list-style-type: none"> 大会旗・炬火リレー基本計画の策定 大会旗・炬火リレーの用具等の整備及び服飾等の調製 採火式、出発式、集火式の企画及び実施 大会旗・炬火リレーポスター、プログラム等の作成及び配布 大会旗・炬火リレーリハーサルの実施 	<ol style="list-style-type: none"> 大会旗・炬火リレー基本計画の策定に関する協力 会場地市町村における歓迎式等の企画及び実施 管内リレー走者の編成 大会旗・炬火リレーリハーサル及び管内練習の実施 管内大会旗・炬火リレーの実施

6 宿泊・衛生

(1) 宿泊関係

細目	県	会場地市町村
宿泊施設等 実態調査	<ol style="list-style-type: none"> 宿泊施設等実態調査の実施 県内宿泊施設台帳の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 会場地市町村における宿泊施設等実態調査の実施及び作成 会場地市町村における宿泊施設台帳の作成
宿泊・ 配宿計画等	<ol style="list-style-type: none"> 宿泊基本方針の決定及び計画の策定 総合配宿計画の策定及び広域配宿に関する連絡調整 宿泊料金等の決定及び協定の締結 	<ol style="list-style-type: none"> 会場地市町村における配宿計画の策定 広域配宿の実施及び引き受け市町村との連絡調整

	<ul style="list-style-type: none"> 4 宿泊要項の作成 5 県内配宿施設名簿の作成及び配布 6 宿泊本部の設置及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> 3 配宿の実施 4 会場地市町村における配宿施設名簿の作成
宿泊指導等	<ul style="list-style-type: none"> 1 宿泊施設等の改善指導及び連絡調整 2 宿泊案内図、標識、表示板、料金表等の作成に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設等の改善指導（バリアフリー対策を含む） 2 会場地市町村における宿舎案内図、標識、表示板、料金表等の作成及び配布
民泊	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における民泊基本計画の策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における民泊基本計画の策定 2 会場地市町村における民泊協力者の調査及び連絡調整 3 民泊協力者の決定及び指導
物資調達	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における主要食品、寝具等の調達計画の策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における主要食品、寝具等の調達計画の策定及び調達の実施
標準献立	<ul style="list-style-type: none"> 1 標準献立作成方針の決定 2 標準献立表の作成及び指導 3 標準献立普及講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における標準献立普及地区講習会の開催
国体弁当	<ul style="list-style-type: none"> 1 弁当調達計画の策定 2 開・閉会式における弁当の調達及び斡旋 3 国体弁当調理講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における弁当調達計画の策定 2 会場地市町村における弁当の調達及び斡旋
宿泊申込	<ul style="list-style-type: none"> 1 宿泊申込書の受理、整理及び連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設との連絡調整

(2) 衛生関係

細目	県	会場地市町村
医事衛生	<ul style="list-style-type: none"> 1 医事衛生基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における医事衛生計画策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における医事衛生計画の策定
医療救護	<ul style="list-style-type: none"> 1 医療救護実施要項等の作成 2 医療機関との連絡調整 3 救護本部の設置及び運営 4 開・閉会式における救護所等の設置及び救急車の配置並びに救護の実施 5 大会旗・炬火リレーにおける救護の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における医療救護計画等の策定 2 会場地市町村における医療機関との連絡調整 3 競技会場、練習会場における救護所の設置及び救急車の配置並びに救護の実施 4 大会旗・炬火リレーにおける救護の協力

食品衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 食品衛生対策要項の作成 2 食品衛生の監視指導 3 食品衛生講習会の開催 4 食品衛生に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における食品衛生の監視指導の協力 2 会場地市町村における食品衛生地区講習会の開催 3 会場地市町村における食品衛生に関する普及・啓発
環境衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境衛生対策要項の作成 2 環境衛生関係営業施設の整備指導 3 清掃パトロール計画の策定 4 環境衛生に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における環境衛生関係営業施設の整備指導の協力 2 清掃パトロールの実施 3 会場地市町村における環境衛生に関する普及・啓発
予防・防疫	<ol style="list-style-type: none"> 1 防疫対策要項の作成 2 宿泊施設及び食品営業関係者等の健康診断の実施 3 予防・防疫の監視指導 4 予防・防疫に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設及び食品営業関係者等の健康診断の実施 2 会場地市町村における予防・防疫の監視指導 3 会場地市町村における予防・防疫に関する普及・啓発
馬事衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 馬事衛生対策要項の作成 2 馬事衛生対策の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1 馬事衛生対策の実施
環境保全	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物減量化、リサイクル計画の策定及び実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における廃棄物減量化、リサイクル計画の策定及び実施

7 輸送・交通

細目	県	会場地市町村
輸送計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送交通基本方針の決定及び計画の策定 2 全国輸送計画の策定 3 開・閉会式輸送計画の策定 4 会場地市町村における輸送計画の策定に関する助言 5 輸送機関との連絡調整 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における輸送計画の策定 2 会場地市町村における輸送機関との連絡調整
大会参加者等輸送	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送本部の設置及び運営 2 開・閉会式における大会参加者等の輸送 3 開・閉会式における輸送交通の案内 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における大会参加者等の輸送 2 会場地市町村における輸送交通の案内
配車・車両借上げ等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式配車計画の策定 2 車両の借上げ、幹旋及び配車 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における配車計画の策定 2 会場地市町村における車両の借上げ、幹旋及び配車
輸送サービス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送関係機関との交通料金の協定締結 	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送関係機関従業員接遇地区講習会の開催

	2 輸送関係機関従業員接遇講習会の開催	
駐車場管理	1 開・閉会式における駐車場の管理及び運営 2 開・閉会式における駐車ステッカーの作成及び配布	1 会場地市町村における駐車場の管理及び運営 2 会場地市町村における駐車ステッカーの作成及び配布
交通計画・交通規制	1 輸送交通基本方針の決定及び計画の策定（再掲） 2 開・閉会式における交通案内図の作成及び配布 3 開・閉会式における交通案内標識等の設置 4 開・閉会式における交通規制及び交通整理の実施 5 大会旗・炬火リレーにおける交通計画の策定及び交通整理の実施	1 会場地市町村における交通計画の策定 2 会場地市町村における交通案内図の作成及び配布 3 会場地市町村における交通案内標識等の設置 4 会場地市町村における交通整理の実施 5 会場地市町村における大会旗・炬火リレーの交通計画の策定及び交通整理の実施

8 警備・消防・防災

細目	県	会場地市町村
警備	1 警備基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における警備計画策定に関する助言 3 警備本部の設置及び運営 4 開・閉会式における警備の実施 5 警備用装備資材の整備	1 会場地市町村における警備計画の策定 2 競技会場等における警備の実施 3 会場地市町村における警備上必要な資材の整備
消防防災	1 消防防災基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における消防防災計画の策定に関する助言 3 消防防災本部の設置及び運営 4 開・閉会式における消防防災の実施	1 会場地市町村における消防防災計画の策定 2 会場地市町村における消防防災の実施

※ 県、会場地市町村の業務の要項及び内容については、業務の進捗状況に応じて、適宜修正を加えるものとする。

第81回国民スポーツ大会実施競技選択基本方針

第81回国民スポーツ大会で実施する競技は、「国民体育大会開催基準要項及び同細則（公益財団法人日本スポーツ協会）」に定められている正式競技及び特別競技のほか、本県のスポーツの現状及び大会後におけるスポーツの普及・振興を考慮しながら、次のとおり選択する。

- 1 公開競技は、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの7競技のうち、中央競技団体等と協議の上、実施競技を選択する。
- 2 デモンストレーションスポーツは、正式競技、特別競技及び公開競技として選択されない競技のうち、公益財団法人宮崎県スポーツ協会（以下、「県スポ協」という。）に加盟する競技団体又は県スポ協が推薦するスポーツ・レクリエーション団体の中から、市町村の希望や競技団体の意向を踏まえ、関係機関・団体との協議の上、実施競技を選択する。

第26回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針

第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の開催に当たり、県及び会場地市町村は、次の方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

1 県が担当する業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な総合調整、連絡及び助言を担当し、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備及び運営に関する業務を担当し、経費を負担する。

2 会場地市町村が担当する業務と負担する経費

- (1) 競技会場の主催者として、競技会実施本部の運営に関する業務を担い、経費を負担する。

3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担、経費負担の細目については、次のとおり定める。

- (1) 県と会場地市町村の業務分担の細目は、別表1のとおりとする。
- (2) 県と会場地市町村の経費負担の細目は、別表2のとおりとする。
- (3) この細目に定めのない事項で必要なものについては、県と会場地市町村が協議の上、別に定める。

別表 1

区 分	主な内容	県	市町村
総務企画	開催準備計画の策定（全般）	○	
	開催準備計画の策定（競技会運営、独自事業）		○
	大会実施本部の設置・運営（係員の編成・業務説明会等を含む）	○	
	競技会実施本部の設置・運営（係員の編成・業務説明会等を含む）		○
	大会実施本部員等必携の作成	○	
	競技会実施本部員等必携の作成		○
	実施本部員、競技役員・補助員、各種ボランティア等の服飾の整備	○	
	式典の企画・運営	○	
行啓等	行啓本部の設置・運営、行啓計画・警備計画の策定	○	
	御泊所、御休憩所、御席（ロイヤルボックス等）等の整備	○	
歓迎・案内	ふれあい広場の設置・運営（開・閉開式会場）	○	
	ふれあい広場の運営（競技会場）		○
	会場地独自のおもてなし		任意
	案内・物品貸与・湯茶接待等の各種サービス施設の設置	○	
	案内・物品貸与・湯茶接待等の各種サービス施設の運営・管理		○
競技施設	競技会場の仮設施設の整備、会場設営	○	
	競技会場の管理・清掃美化		○
競技運営	競技実施要項・競技別実施要領の策定	○	
	競技別プログラムの作成	○	
	競技会の運営（開始式・表彰式・競技記録の報告等）		○
	競技用具の整備	○	
	競技会運営用の消耗品の整備		○
	競技役員等の養成および編成	○	
広報・ 県民運動	各種広報媒体物・行事等における大会PR	○	○
	県民運動の普及啓発・推進	○	
	会場市町村における県民運動の推進		○
	各種ボランティアの募集・養成・登録	○	
	競技会場へのボランティア配置	○	
	競技会場におけるボランティアの総括（配置・指示・調整等）		○
宿泊・衛生	宿泊計画の作成および配宿の実施、弁当の調達・斡旋	○	
	弁当引換所の運営・管理		○
	医療救護計画の策定、救護所等の設置	○	
	救護所等の運営・管理		○
輸送・交通	輸送計画の策定、輸送の実施、駐車場の確保	○	
	駐車場の管理運営・交通整理の実施		○
警備・消防	警備・消防防災計画の策定	○	
	警備・消防防災の実施		○

別表 2

区 分	主な内容	県	市町村	備 考
総務企画	大会従事者の保険	○		
	大会招待者に対する招待状の発送	○		市町村独自招待分は市町村負担
	I Dカードの作成	○		
	実施本部の備品	○		コピー機、F A X等
	上記以外の備品および消耗品		○	筆記用具等
	実施本部員、競技役員・補助員、各種ボランティア等の服飾	○		
行啓等	行啓・お成り	○		
歓迎・案内	総合案内所・看板設置	○		
	ふれあい広場の設置	○		
	ドリンクサービスの飲料	○		市町村独自提供分は市町村負担
施設整備	競技会場の仮設施設の整備、会場設営	○		
	会場使用料	○		使用料減免への協力
	トイレ・スロープ等仮設物の設置	○		市町村の判断で常設設備または、独自の仮設設備（装飾等）の整備を行う場合は市町村負担
	音響設備、通信機器等の配備	○		
	会場装飾、看板、サイン表示等	○		
競技運営	競技実施本部員の旅費		○	先催県視察、宿泊を含む
	競技実施本部員の時間外勤務手当		○	
	競技実施本部員業務必携の作成・印刷		○	
	競技運営（主管団体への委託）	○		
	競技役員等の養成・編成	○		
	競技用具の整備	○		国スポと調整・連携
	表彰物品の作成	○		大会メダル、賞状等
	プログラムの作成	○		市町村独自プログラムを作成するときは市町村負担
	市町村が出演依頼をする開始式出演団体の旅費等		○	内容については競技団体等との調整が必要
広報・ 県民運動	印刷物・広報物品等の作成	○		市町村独自作成分は市町村負担
	広報イベントの開催	○		市町村独自作成分は市町村負担
	ボランティアの募集・養成（パンフレット作成、研修等）	○		市町村独自作成分は市町村負担
	ボランティアの保険・弁当	○		
宿泊・衛生	選手団等の配宿	○		
	救護所の設置	○		
輸送・交通	計画バス等の運行	○		

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 募金・企業協賛基本方針

第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を宮崎県で開催するにあたり、県民総参加型によるおもてなしの心あふれる大会の実現を目指すとともに、大会の周知と機運の醸成を図り、円滑な開催に資するため、県内外から幅広く協力を得て、次のとおり募金・企業協賛を実施する。

1 募金

すべての県民が大会にかかわる機会となる県民運動やボランティア活動、また、大会の開催を契機として、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりの推進を多くの方に支えていただくため、県内外の個人、企業及び団体を対象として寄附金を募るものとする。

2 企業協賛

大会周知のための広報活動や大会の準備・運営を支えていただくため、県内外の企業・団体等を対象として、協賛金及び物品・役務等を募るものとする。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 募金基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の募金については、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会募金・企業協賛基本方針」に基づき、次のとおり推進する。

1 募金の名称

募金の名称は、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ募金」（以下「募金」という。）とする。

2 募金の種類

(1) 個人募金

広報紙、各種メディア、リーフレット等を活用し、広く県民に募金を呼びかける。

(2) 職場・職域募金

企業・団体等に勤務する個人に対し、職場単位の募金を呼びかける。

(3) 募金箱募金

各施設等に募金箱を設置し、募金を呼びかける。

(4) イベント募金

各種イベントと連携し、募金を呼びかける。

(5) 企業・団体募金

企業協賛と併せて、企業・団体による募金を呼びかける。

(6) グッズ販売募金

マスコットキャラクターを活用した各種グッズを販売し、その売上げを募金に充当する。

3 募金の期間

募金の期間は、令和5年8月1日から両大会の終了する日の属する月の末日までとする。

4 募金の対象者

募金の対象者は、県内外の個人、団体及び企業とする。

5 募金の受入れ

募金の受入れは、県が行うものとする。

6 募金の使途

募金は、両大会のボランティア活動をはじめとした県民運動などの大会運営やスポーツを活かした「未来のみやざき」づくりの推進のために活用する。

7 寄附者に対する謝意表明

一定額以上の寄附者に対しては、別に定めるところにより謝意表明を実施する。

8 その他

(1) 県は、市町村及び競技団体と協力して、募金活動を推進する。

(2) この基本計画に定めるもののほか、募金の推進に必要な事項は、別に定める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本方針

1 目 的

多くの県民が文化・芸術活動を通して第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加することで、開催機運を盛り上げるとともに、県民総参加型の大会を目指す。

あわせて、神話や伝統文化、豊かな自然や食、充実したスポーツ環境等、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信する。

2 内 容

文化プログラムの内容は、次のいずれかに該当し、県が認めたものとする。

- (1) スポーツに関する文化・芸術事業
- (2) 本県の文化・芸術等を発信する事業
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業

3 実 施 者

文化プログラムの事業を実施できるものは、次のとおりとする（宗教団体、政治団体は除く）。

- (1) 公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、県、市町村及び特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会
- (2) 公益法人又はこれに準ずる団体
- (3) 通信、新聞、テレビ、ラジオなどの報道機関
- (4) その他、県が上記各号に準ずると認めるもの。

4 期 間

文化プログラムの実施期間は、原則として、大会開催年の1月1日から12月31日までとする。

5 開 催 地

文化プログラムは原則として県内で実施する。

6 経 費 負 担

文化プログラムの実施に係る経費は、3に定める各事業の実施者が負担する。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）における競技役員等の編成は、大会における競技会の運営が円滑に行われるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 基本方針

- (1) 競技役員等の編成は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」（以下「要項」という。）及び同細則並びに「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」に基づき、県が、会場地市町村及び県・中央競技団体と十分協議して行うこととする。
- (2) 競技役員等の編成は、1 人 1 競技を原則として、県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、できる限り県内役員とし、競技団体及び会場地市町村の実情に即し、必要最低限の人数により最大の効果をあげることができるよう適正な配置を行うこととする。
- (3) 競技役員等の編成は、競技団体及び会場地市町村関係者のみならず、広く県民の積極的な参加と協力が得られるよう配慮する。

2 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容

- (1) 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容は、別表のとおりとする。
- (2) 競技役員等の編成案は、会場地市町村が競技団体等と協議の上作成し、県において決定する。

3 競技役員等の調整

競技役員等の編成に当たり、重複して競技役員等（監督、コーチ及び選手を含む）となる可能性がある場合は、原則として次により関係者が協議して調整する。

- (1) 監督、コーチ及び選手並びに競技役員等の重複については、監督、コーチ及び選手を優先する。
- (2) 2 競技以上にわたる競技役員等の重複については、その業務内容により、関係者が協議して調整する。
- (3) 同一競技における競技役員等の重複については、その業務内容により認める。
- (4) 開・閉会式及び集団演技関係役員と競技役員等の重複については、その業務内容により認める。

【別表】 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容

	役 職 名	定 義	編 成 方 法	業 務 内 容
競技会運営 (試合等)	①競技会役員	要項第23 項第2号の 規定に該当 する者	名誉会長、会長、副会長、 顧問、参与、委員長、副委 員長及び委員	—
	②競技役員			
	審判員	競技の審判 に携わる者	○原則として、県内有資 格者 ○必要に応じて中央及び 近県競技団体関係者を 含める。	総括、総務、運営、 審判、記録、出発、 監察、放送、召集、 掲示、進行、報道、 表彰、救護、得点掲示、 会場、記録送受信、 総合成績計算 等
	運営員	競技会の運営 に携わる者 (審判員を除 く。)	○原則として、県競技団 体関係者と会場地市町 村関係者等 ○必要に応じて中央及び 近県競技団体関係者を 含める。	
	③競技補助員	競技役員の 業務補助に 携わる者	会場地市町村及び周辺市 町村に在住する当該競技 関係者	競技役員の業務を補助
競技会場運営	①競技会係員	宿泊・輸送・ 歓迎・駐車 場等の競技 会を支援す る間接的な 業務に携わ る者	会場地市町村関係者等	総括、総務、接待、 宿泊、輸送、警備、 駐車場、入場券販売、 施設管理、会場美化、 練習会場、会場整理、 プログラム販売、 受付案内、弁当、等
	②競技会補助員	競技会係員 の業務補助 に携わる者	会場地市町村及び周辺市 町村に在住する者	競技会係員の業務補助

注) 競技役員のうち、競技役員、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の想定される業務内容である。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営に当たる競技役員等の養成は、競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を図り、大会後も各競技の普及・強化につなげるために、次の基本方針に基づいて計画的に推進する。

- 1 競技役員等については、中央競技団体と連携のうえ、できる限り県内有資格者により必要人数を確保することを目標として養成する。
- 2 競技役員等は、円滑な競技運営を図るため、役員の負担軽減を考慮し、1 人 1 競技を原則として養成する。
- 3 競技役員等は、県、会場地市町村、競技団体等の業務分担を明確にし、十分に連携を図りながら計画的に養成する。
- 4 資格が必要な競技役員については、資格取得及び資質の向上が重要となることから、各競技団体ごとに年次別養成計画を策定し養成する。
- 5 資格が必要のない競技役員等については、本県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、広く県民の積極的な参加と協力を呼びかけ、各競技会場地及びその周辺において、できる限り確保できるよう養成する。

第 8 1 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画

第 8 1 回国民スポーツ大会の競技運営に当たる競技役員等の養成については、「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針」及び「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針」に基づき、第 8 1 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画を作成し、計画的かつ円滑な事業の推進を図る。

1 養成対象

競技役員（審判員・運営員）、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員を養成の対象とする。

2 業務分担

- (1) 競技役員（審判員・運営員）及び競技補助員については、競技団体がその養成を行う。
- (2) 競技会係員及び競技会補助員については、会場地市町村が関係団体と十分協議し、その養成を行う。
- (3) 県は、競技団体及び会場地市町村と連携を図り、競技役員等の養成計画の推進に努める。

3 養成事業

- (1) 競技役員（審判員・運営員）の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会
 - ③ 中央及びブロックの競技団体主催の講習会への派遣
 - ④ 中央及びブロックの競技団体主催の大会への派遣
- (2) 競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会

4 養成実施年次計画

競技役員等の養成実施年次計画は、次のとおりとする。

区分・内容			年 度								
			平成 30年 9年前	令和 元年 8年前	令和 2年 7年前	令和 3年 6年前	令和 4年 5年前	令和 5年 4年前	令和 6年 3年前	令和 7年 2年前	令和 8年 1年前
競技役員	審判員	中央講習会等派遣 県内講習会	資格取得、資格維持、資質向上								
	運営員	要資格 運営員	資格取得、資格維持、資質向上								
		その他 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会	養成、資質向上							
競技補助員		県内講習会	養成、資質向上								
競技会係員		県内講習会	養成								
競技会補助員		県内講習会	養成								

5 競技役員等の養成計画

- (1) 競技役員等の具体的な養成計画は、各競技団体が別途作成する。
- (2) 養成計画は、事業の進捗状況をふまえ、毎年見直しをする。

第81回国民スポーツ大会競技運営基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則並びに第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

- 1 正式競技、公開競技及び特別競技の運営は、日本スポーツ協会加盟の各競技団体及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が主管する。また、デモンストレーションスポーツの運営は、県競技団体等が主管する。
- 2 正式競技及び特別競技の競技役員等の編成は、日本スポーツ協会の定める国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準及び第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針に基づき行うものとする。
- 3 競技用具は、第81回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針に基づき、競技運営に支障がないよう県及び会場地市町村において計画的に整備する。
- 4 競技記録及び成績の収集・速報は、県及び会場地市町村が競技団体と連携を図り、迅速かつ正確に処理する。
- 5 競技会の運営能力の向上を図るためにリハーサル大会を実施する場合は、会場地市町村と競技団体が協力して、運営全般にわたって習熟を図るとともに、県民の大会及び各種競技に対する関心を高め、理解を深めるよう努めるものとする。
- 6 その他、競技運営の諸企画及び実施に当たっては、競技団体及び関係機関と十分な連携を図り、適切に行うものとする。

第81回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営に要する器具・用具（以下「競技用具」という。）については、競技運営に万全を期するとともに、本県スポーツの普及・振興に資するため、次の方針に基づき計画的に整備する。

- 1 競技用具の整備に当たっては、第81回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針及び同細目並びに別に定める第81回国民スポーツ大会競技用具整備計画に基づくものとする。
- 2 競技用具の整備に当たっては、県と会場地市町村が十分協議するとともに、県競技団体、公益財団法人日本スポーツ協会、中央競技団体と連携の上、推進するものとする。
- 3 競技用具は、原則として県及び会場地市町村並びに県競技団体が現有するものを活用することとし、現有の競技用具で不足するものについては借用し、借用困難な場合についてのみ購入するものとする。
- 4 一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を越えて整備しなければならないものについては、別に定める。
- 5 購入する競技用具の保管及び大会終了後の利活用については、県及び会場地市町村がそれぞれの責任において行うものとする。

第81回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）において実施する公開競技は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 大会を契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指す。

2 実施競技の実施

競技は、次の事項について総合的に検討し、実施する。

- (1) 競技を実施することにより、国スポ終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他必要な事項は、別に定める。
- (2) 実施時期は、当該大会開催年度の4月1日から大会閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

第8 1回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針

第8 1回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第8 1回国民スポーツ大会・第2 6回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の大会への参加機会をより多く設けるとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指す。
- (2) デモスポへの参加を通じて、世代間や地域間の交流の輪を広げ、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを目指す。

2 実施競技の実施

競技は、次の事項について総合的に検討し、実施する。

- (1) 正式競技、特別競技、公開競技以外の競技で公益財団法人宮崎県スポーツ協会に加盟又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第8 1回国民スポーツ大会・第2 6回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は、別に定める。
- (2) 実施時期は、当該大会開催年度の年4月1日から大会閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、原則として1日とする。

5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は、第8 1回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

第81回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第81回国民スポーツ大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

以下に基づき、第81回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準 [(公財) 日本スポーツ協会]
- (2) 第81回国民スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第81回国民スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第81回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 1, 644人 (別表<1>)

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。(別表<2・3>)

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜本計画を見直すこととする。

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数

単位:人

No.	内訳 競技名	競技役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内必要数	開催時 従事 見込数	不足数	養成 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③ (①+②)	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥ (④+⑤)	計 ⑦ (③-⑥)	⑧	⑨ (⑦-⑧)	
1	陸上競技	449	260	182	442	18	12	30	413	246	167	218
2	水泳	462	186	44	230	56	18	74	156	54	102	134
3	サッカー	387	100	40	140	52	20	72	48	37	11	15
4	テニス	186	97	9	106	2	1	3	103	32	71	94
5	ボート	132	46	0	46	11	22	33	13	3	10	13
6	ホッケー	85	22	18	40	28	0	28	12	4	8	11
7	ボクシング	91	25	8	33	30	0	30	3	1	2	3
8	バレーボール	384	93	0	93	7	21	28	65	41	24	30
9	体操	426	131	0	131	63	25	88	43	5	38	52
10	バスケットボール	313	85	30	115	35	21	56	59	41	18	25
11	レスリング	144	39	0	39	37	0	37	2	1	1	2
12	セーリング	220	28	41	69	21	4	25	44	13	31	43
13	ウエイトリフティング	123	33	9	42	11	19	30	12	4	8	12
14	ハンドボール	182	36	48	84	35	2	37	47	37	10	14
15	自転車	192	85	94	179	40	57	97	82	54	28	37
16	ソフトテニス	172	100	0	100	2	0	2	98	68	30	40
17	卓球	200	111	0	111	3	0	3	108	15	93	122
18	軟式野球	254	82	0	82	6	3	9	73	43	30	40
19	相撲	156	57	0	57	10	21	31	26	12	14	19
20	馬術	177	16	18	34	19	7	26	8	5	3	4
21	フェンシング	91	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
22	柔道	133	37	13	50	31	0	31	19	7	12	16
23	ソフトボール	326	93	43	136	14	7	21	115	48	67	88
24	バドミントン	315	221	83	304	12	11	23	281	127	154	202
25	弓道	176	31	39	70	1	15	16	54	39	15	20
26	ライフル射撃	170	41	18	59	33	11	44	15	9	6	8
27	剣道	103	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	111	26	0	26	2	15	17	9	5	4	5
29	スポーツクライミング	112	22	90	112	20	4	24	88	1	87	115
30	カヌー	236	154	0	154	23	0	23	131	12	119	156
31	アーチェリー	92	30	6	36	4	18	22	14	8	6	9
32	空手道	175	51	29	80	46	0	46	34	20	14	19
33	銃剣道	88	16	0	16	14	0	14	2	2	0	0
34	なぎなた	112	21	14	35	26	0	26	9	1	8	12
35	ボウリング	98	25	17	42	9	0	9	33	24	9	12
36	ゴルフ	158	11	0	11	5	0	5	6	6	0	0
37	トライアスロン	115	66	1	67	4	0	4	63	22	41	54
38	高等学校野球	127	40	0	40	0	0	0	40	40	0	0
合計		7,473	2,569	894	3,463	782	334	1,116	2,328	1,087	1,241	1,644

注) ⑦「県内必要数」、⑧「開催時従事見込数」、⑨「不足数」は、各資格の階級及び種類に属する、全ての有資格者数を合算したものであり、⑨「不足数」に1.3を乗じたものが「養成目標数」である。

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数
【資格取得】

単位:人

No.	内訳 競技名	養成 目標数								延 養成数
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
			R03 (6年前)	R04 (5年前)	R05 (4年前)	R06 (3年前)	R07 (2年前)	R08 (1年前)	R09 (開催年)	
1	陸上競技	218	19	61	59	61	53	48	34	335
2	水泳	134	6	14	24	26	28	26	25	149
3	サッカー	15	3	2	2	2	2	2	2	15
4	テニス	94	0	13	13	21	10	15	29	101
5	ボート	13	0	3	3	3	2	1	1	13
6	ホッケー	11	0	2	1	3	1	3	1	11
7	ボクシング	3	0	2	1	2	0	0	0	5
8	バレーボール	30	0	6	4	6	4	6	4	30
9	体操	52	10	35	40	41	20	13	0	159
10	バスケットボール	25	0	7	9	10	11	0	0	37
11	レスリング	2	0	1	1	0	0	0	0	2
12	セーリング	43	0	3	25	8	24	2	0	62
13	ウエイトリフティング	12	3	6	4	4	7	6	0	30
14	ハンドボール	14	4	8	7	4	5	2	0	30
15	自転車	37	10	12	6	3	3	3	3	40
16	ソフトテニス	40	0	10	10	10	16	10	0	56
17	卓球	122	25	26	26	26	49	29	0	181
18	軟式野球	40	0	9	13	11	11	0	0	44
19	相撲	19	6	4	3	3	3	0	0	19
20	馬術	4	2	1	1	0	0	0	0	4
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	16	4	2	2	2	2	2	2	16
23	ソフトボール	88	20	37	25	36	14	22	0	154
24	バドミントン	202	5	8	15	22	72	82	63	267
25	弓道	20	0	5	5	5	3	2	0	20
26	ライフル射撃	8	0	2	2	2	2	0	0	8
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	5	0	1	1	1	1	1	0	5
29	スポーツクライミング	115	0	0	31	20	33	33	0	117
30	カヌー	156	0	40	40	22	30	24	0	156
31	アーチェリー	9	0	1	3	5	7	0	0	16
32	空手道	19	3	6	7	7	9	5	0	37
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	なぎなた	12	0	5	4	3	4	2	0	18
35	ボウリング	12	0	2	5	3	2	0	0	12
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	54	0	14	16	16	17	15	0	78
38	高等学校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		1,644	120	348	408	388	445	354	164	2,227

<別表3>

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数
【資格維持・資格向上】

単位:人

No.	内訳 競技名								計
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
		R03 (6年前)	R04 (5年前)	R05 (4年前)	R06 (3年前)	R07 (2年前)	R08 (1年前)	R09 (開催年)	
1	陸上競技	246	246	288	326	369	404	438	2,317
2	水泳	55	61	69	92	115	145	171	708
3	サッカー	37	40	42	44	46	48	50	307
4	テニス	32	31	41	53	74	84	99	414
5	ボート	3	3	6	9	12	14	15	62
6	ホッケー	4	4	6	7	10	11	14	56
7	ボクシング	3	3	4	3	5	5	4	27
8	バレーボール	41	39	45	47	53	55	61	341
9	体操	30	17	30	42	63	56	55	293
10	バスケットボール	41	40	44	49	55	66	66	361
11	レスリング	3	2	2	3	3	3	3	19
12	セーリング	13	10	10	33	36	58	48	208
13	ウエイトリフティング	6	7	11	12	11	10	16	73
14	ハンドボール	37	37	40	45	46	49	51	305
15	自転車	38	46	57	63	66	69	72	411
16	ソフトテニス	68	66	74	82	84	98	108	580
17	卓球	15	34	54	74	79	109	138	503
18	軟式野球	79	70	66	68	78	89	83	533
19	相撲	12	18	22	25	28	31	31	167
20	馬術	5	5	7	8	9	9	9	52
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	7	11	13	15	17	19	21	103
23	ソフトボール	86	84	111	112	138	130	152	813
24	バドミントン	127	129	127	130	140	195	266	1,114
25	弓道	39	39	44	49	54	57	59	341
26	ライフル射撃	10	10	12	14	16	18	18	98
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	10	9	9	9	9	9	10	65
29	スポーツクライミング	1	1	0	31	51	83	116	283
30	カヌー	12	12	52	92	112	140	164	584
31	アーチェリー	8	8	8	9	10	17	17	77
32	空手道	20	20	23	27	29	34	39	192
33	銃剣道	2	2	2	2	2	2	2	14
34	なぎなた	1	0	2	5	7	11	13	39
35	ボウリング	24	24	26	31	34	36	36	211
36	ゴルフ	6	6	6	6	6	6	6	42
37	トライアスロン	22	18	26	36	47	61	73	283
38	高等学校野球	40	40	40	40	40	40	40	280
合 計		1,183	1,192	1,419	1,693	1,954	2,271	2,564	12,276

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指すとともに、大会開催と宮崎の魅力を全国に発信するために、次のとおり実施する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の多様な主体との連携・協働のもと、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域に伝達するとともに、神話や伝統、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、宮崎の多彩な魅力を全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、大会開催の成果を「未来のみやざき」づくりにつなげる。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動については、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し、普及する。

- (1) 愛称・スローガンの制定及び普及
- (2) マスコットの制定及び普及
- (3) イメージソング等の制定及び普及

2 各種広報物による広報

各種広報物の作成や既存の広報誌等を活用した、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスター、パンフレット、リーフレット等の作成
- (3) 大会ガイドブック等の作成
- (4) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報誌等）の活用
- (5) 広報グッズ等の作成

3 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報を実施する。

- (1) 広告塔、歓迎塔等の設置
- (2) のぼり、横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

4 多様なメディアによる広報

報道機関との連携及び多様なメディアの活用により、広域的かつ効果的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の広報活動の活用
- (3) ホームページやソーシャルメディア等による広報活動の推進

5 イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベントと連携した広報活動を実施する。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- (2) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等において実施する各種イベントにおけるPR活動等の実施

6 映像による広報

PR映像を活用した広報を実施する。

- (1) 広報用映像の制作及びインターネット等での公開
- (2) 前回大会（日本のふるさと宮崎国体）や先催県の大会映像（DVD等）の貸出

7 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

8 参加章等の作成

大会の開催を記念し、参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章、記念章の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

9 その他

その他、広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会(以下「大会」という。)の県民運動は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会の実現を目指して、次の方針に基づき展開する。

この大会の開催を契機に、スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組むとともに、本県の多彩な魅力の発信やスポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進する。

- 1 すべての県民が、大会やイベント、ボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- 2 すべての県民が、来県者等を“おもてなしの心”で温かく迎える。
- 3 すべての県民が、スポーツとの関わりを通じ、スポーツの素晴らしさを体感し、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。
- 4 すべての県民が、来県者等との交流を通じて、宮崎県の多彩な魅力を全国へ向けて発信する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、次の具体的取組により、大会開催に向けた全県的な県民運動を推進する。

- 1 すべての県民が、大会やイベント、ボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
 - (1) 総合開・閉会式の運営や出演、炬火イベント等への参加
 - (2) 競技会場での観戦や選手の応援
 - (3) ボランティア活動への参加
 - (4) 募金や企業協賛による協力

- 2 すべての県民が、来県者等を“おもてなしの心”で温かく迎える。
 - (1) 明るい挨拶と親切、丁寧な対応で来県者を歓迎
 - (2) たくさんの花ときれいな町づくり
 - (3) のぼり旗や横断幕、案内看板等による歓迎・応援
 - (4) 郷土料理や御当地グルメ、特産品でのおもてなし

- 3 すべての県民が、スポーツとの関わりを通じ、スポーツの素晴らしさを体感し、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。
 - (1) デモンストラションスポーツや各種スポーツ大会・イベント等への参加
 - (2) 県内で行われる各種スポーツ大会・キャンプ等の観戦や応援
 - (3) ライフステージに応じた日常的なスポーツ活動の実践

- 4 すべての県民が、来県者等との交流を通じて、宮崎県の多彩な魅力を全国に向けて発信する。
 - (1) 豊かな自然や歴史、文化、食などの宮崎の多彩な魅力紹介
 - (2) 地産地消の推進や宮崎の郷土料理、御当地グルメ等の紹介
 - (3) 地域ブランドの積極的なPR

第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画

第26回全国障害者スポーツ大会の競技運営に当たる競技役員等の養成については、「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針」及び「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針」に基づき、第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本計画を作成し、計画的かつ円滑な事業の推進を図る。

1 養成対象

競技役員（審判員・運営員）、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員を養成の対象とする。

2 業務分担

- (1) 競技役員（審判員・運営員）及び競技補助員については、原則、競技団体がその養成を行う。
- (2) 競技会係員及び競技会補助員については、県が関係団体と十分協議し、その養成を行う。
- (3) 県は、競技団体及び会場地市町村と連携を図り、競技役員等の養成計画の推進に努める。

3 養成方法

- (1) 競技役員（審判員・運営員）については、以下の方法で養成する。
 - ・ 県内外の講師による県内講習会の実施
 - ・ 県外で開催される講習会等への派遣
- (2) 競技補助員、競技会係員及び競技会補助員については、以下の方法で養成する。
 - ・ 県内外の講師による県内講習会の実施

4 養成実施年次計画

競技役員等の養成実施年次計画は、次のとおりとする。

区分・内容			年 度							
			令和 3年 6年前	令和 4年 5年前	令和 5年 4年前	令和 6年 3年前	令和 7年 2年前	令和 8年 1年前	令和 9年 開催年	
競技役員	審判員	中央講習会等派遣 県内講習会		資格取得、資格維持、資質向上						
	運営員	要資格 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会		資格取得、資格維持、資質向上					
		その他 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会					養成、資質向上		
競技補助員		県内講習会					養成、資質向上			
競技会係員		県内講習会					養成			
競技会補助員		県内講習会					養成			

※ 養成実施年次計画は、事業の進捗状況をふまえて随時見直しをする。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「参加者」という。）の宿泊及び食事については、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の参加者がそれぞれの分野で十分な活躍ができるよう、おもてなしの心で温かく迎えるとともに、宮崎の多彩な魅力を全国へ発信するため、次の方針に基づき実施する。

1 宿 舎

- (1) 参加者の宿舎は、原則として、会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市町村内の旅館で参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議の上、公共施設、民家等及び近隣市町村（原則として県内）の旅館等を利用する。
- (3) 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

2 配 宿

- (1) 国スポにおける選手・監督及び競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は、競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し、会場地市町村が行う。ただし、近隣市町村（原則として県内）の旅館等に配宿する場合及び選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町村が協議して行う。障スポ参加者の配宿については、県が行う。
- (2) 大会の選手・監督の宿舎は、都道府県別、競技別、競技種別及び男女別を考慮して配宿する。
- (3) 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。
- (4) 障スポ参加者にとって、利用しやすい宿泊施設に配宿するよう努める。

3 宿泊料金

国スポ参加者の宿泊料金は、県及び旅館等の関係団体との協議を経て、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

障スポ参加者の宿泊料金は、国スポ宿泊料金を基本とし、県が決定する。

4 食 事

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者等」という。）の医事・衛生については、関係機関・団体等の協力を得て、清潔で快適な環境の下で十分な活躍と観覧ができるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 医療救護

参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。

2 防 疫

参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

3 食品衛生

参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、宿舎及び食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

4 環境衛生

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等はもとより、広く県民の協力を得て、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策、動物の適正管理等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

5 馬事衛生

馬術競技出場馬の健康保持のため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宿泊基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の宿泊業務を円滑に推進する。

1 配宿業務の実施

(1) 宿舎に関する調査の実施

[国スポ]

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「参加者」という。）の配宿計画の作成に資するため、県と市町村が連携し、宿舎に関する調査を実施する。

[障スポ]

参加者の配宿計画の作成に資するため、県は、宿舎に関する調査を実施する。

(2) 宿泊予定者数の把握

配宿計画の作成に必要な各都道府県の宿泊予定者数を把握するため、県は、各都道府県等への宿泊意向調査を実施する。

(3) 仮配宿計画の作成

[国スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績及び宿泊意向調査に基づき、県と会場地市町村が連携し、仮配宿計画（会場地市町村ごとに参加者をどの宿泊施設に割り振るかのシミュレーションを行い作成した計画をいう。以下同じ。）を作成する。

[障スポ]

宿舎に関する調査、先催県の参加者の実績および宿泊意向調査に基づき、県は、仮配宿計画を作成する。

(4) 宿泊施設の充足対策

[国スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）のみでは参加者の収容が困難な場合は、会場地市町村が、会場地市町村内の旅館の客室提供の促進、近隣（原則として県内）市町村旅館の利用、公共施設等の転用及び民家の利用など、必要な充足対策を行う。

なお、充足対策が円滑に遂行できるよう、必要に応じ、県及び会場地市町村等による連絡会議を設置する。

[障スポ]

仮配宿計画において、会場地市町村内の旅館のみでは参加者の収容が困難な場合は、県は、広域配宿を行うなど必要な充足対策を行う。

(5) 配宿計画の作成

[国スポ]

県と会場地市町村は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

[障スポ]

県は、仮配宿計画等に基づき、市町村ごとの宿泊人数を調整の上、配宿計画を作成する。

(6) 宿泊環境の整備

[障スポ]

参加者が快適に宿泊できるよう、県は、必要に応じて、宿泊支援用具等を準備するなど、宿泊環境の整備に努める。

2 宿泊本部の設置

[国スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県及び会場地市町村に宿泊本部を設置する。

[障スポ]

宿泊申込み及び変更、取消しに関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、県に宿泊本部を設置する。

3 宿泊料金の決定

[国スポ]

参加者の宿泊料金については、先催県の事例も参考に、県が旅館等の関係団体との協議結果を踏まえ、公益財団法人日本スポーツ協会と協議し、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

[障スポ]

参加者の宿泊料金については、国スポの宿泊料金を基本とし、旅館等の関係団体と協議し、県が決定する。

4 標準献立の作成

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

また、選手が十分に活躍できるよう標準献立を作成するとともに、調理関係者等を対象に講習会を開催し、標準献立の普及に努める。

5 弁当の調達

[国スポ]

昼食弁当については、県及び会場地市町村が、必要に応じて調達斡旋を行う。

[障スポ]

昼食弁当については、県が、必要に応じて調達斡旋を行う。

6 その他

上記のほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項については、別に定める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会医事・衛生基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、医事・衛生業務を円滑に推進する。

1 医療救護対策

(1) 救護所及び救護本部の設置

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者等」という。）の傷病の発生に速やかかつ適切に対処するため、開・閉会式会場、競技会場等に救護所を設置する。

また、必要に応じ医療救護業務を統括するため、救護本部を設置する。

(2) 傷病の発生時の対応等

傷病の予防に関する啓発及び発生時の患者への対応については、パンフレットの作成・配布等により、各都道府県、宿泊施設、医療機関等に周知徹底を図る。

2 防疫対策

(1) 防疫に関する知識の普及及び意識の啓発

参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関及び関係団体等の協力を得て、防疫に関する知識の普及及び意識のより一層の啓発を図る。

(2) 健康診断の実施

参加者等の、特に消化器系感染症の発生予防のため、宿舎、弁当調製施設等の業務従事者を対象とした、保菌検査（検便）等の健康診断実施の励行に努める。

3 食品衛生対策

(1) 食品衛生に関する知識の普及及び意識の啓発

食品に起因する衛生上の危害を防止するため、宿舎及び食品取扱施設の営業者等に対し、食品衛生に関する知識の普及及び意識のより一層の啓発を図り、あわせて自主的な衛生管理の向上を促す。

(2) 監視・指導の実施

宿舎や弁当調製施設など食品取扱施設を対象に、監視・指導を行う。

4 環境衛生対策

(1) 会場及び生活環境の美化

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、開・閉会式会場、競技・練習会場、河川・道路等公共の場所及び観光地等の清掃を実施するとともに、廃棄物の不法投棄の防止を図り、会場等の美化に努める。

(2) 廃棄物の発生抑制及びリサイクルの推進

競技会場等における廃棄物の発生抑制に努めるとともに、分別収集を徹底し、可能な限りリサイクルを行う。

- (3) 宿舎の衛生対策
宿泊者が快適に過ごせるよう、宿舎に対して必要な指導等を行い、宿舎の衛生対策に努める。
- (4) 飲料水の衛生対策
安全な飲料水を確保するため、必要に応じて水質検査等を行い、飲料水の衛生対策に努める。
- (5) 衛生害虫等の駆除
生活環境の衛生保持を図るため、必要に応じて衛生害虫等の駆除を行い、発生源対策に努める。
- (6) 動物の適正管理
会場及び宿舎等の周辺における動物による危害防止を図るため、動物の適正管理等の対策に努める。
- (7) 受動喫煙防止対策
望まない受動喫煙が生じないように、競技会場等における受動喫煙防止対策に努める。

5 馬事衛生対策

- (1) 防疫対策
馬術競技出場馬の防疫に万全を期するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫検査や消毒、害虫駆除等の必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努める。
- (2) 出場馬の健康管理
出場馬の健康保持のため、健康検査や健康観察、装蹄等を実施し、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。
- (3) 厩舎等の管理運営
出場馬の円滑な入退厩、敷料等の確保や施設の衛生対策等、厩舎等の管理運営を適切に行う。

6 その他

上記のほか、医事・衛生業務の実施に関して必要な事項については、別に定める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基本方針

第81回国民スポーツ大会(以下「国スポ」という。)及び第26回全国障害者スポーツ大会(以下「障スポ」という。)に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員その他の関係者(以下「参加者」という。)及び一般観覧者の輸送については、道路及び交通の状況等に十分配慮しながら、安全かつ確実に行うものとする。

1 参加者の輸送

(1) 全国輸送

ア 全国から来県する参加者の輸送については、各派遣元団体等で来県方法を決定するものとする。

イ 県及び会場地市町村は、関係機関等の協力を得て、円滑な輸送の確保に努める。

(2) 開・閉会式の輸送

ア 開・閉会式における参加者の輸送については、県が会場地市町村、関係機関等の協力を得て実施する。

イ 原則として計画輸送とし、円滑な輸送の確保に努める。

(3) 競技会場地の輸送

ア 国スポの競技会場地における参加者の輸送については、会場地市町村が県及び関係機関等の協力を得て実施する。また、同一の競技を2市町村以上の会場地で行う場合は、円滑な輸送が行われるよう、関係市町村が協議して実施する。

イ 障スポの競技会場地における参加者の輸送については、県が実施する。

(4) 指定集合地の設定

県及び会場地市町村は、国スポの開・閉会式及び各競技会場地における参加者の輸送を円滑に行うため、宿舎の分布、参加人員、道路交通事情等を考慮し、バス、タクシーその他の車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

2 一般観覧者の輸送

(1) 開・閉会式及び競技会場地の輸送については、県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て、バス・タクシー及び鉄道等の利用による円滑な輸送に努める。

(2) 自家用車で開・閉会式会場及び競技会場への乗り入れについては、道路交通事情及び駐車場の設置状況に応じて必要な制限を行う。

3 車両等及び駐車場の確保

(1) 参加者及び一般観覧者の輸送に必要な車両等については、県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て、その確保に努める。

(2) 車両の確保については、ユニバーサルデザイン車両の確保に努めるとともに、障がい者等の移動に配慮する。

(3) 県及び会場地市町村は、開・閉会式及び競技会場地における駐車場の確保に努めるとともに、遠隔となる駐車場については、必要な措置を講じる。

4 交通安全対策

県及び会場地市町村は、期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、関係機関等のもとより、広く県民に協力を求め、実情に応じて適切な対策を講じる。

5 環境に配慮した運営

県及び会場地市町村は、開・閉会式及び競技会場地における参加者及び一般観覧者の輸送については、マイカー自粛や公共交通機関の利用促進を呼びかけるなど、環境に配慮した運営に努める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会輸送・交通基本方針に基づき、県、会場地市町村、関係機関及び関係団体等は相互に緊密な連携を図り、第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の輸送・交通業務を円滑に推進する。

1 輸送・交通業務の一般的事項

(1) 輸送対象者

輸送対象者は以下のとおりとする。

ア 大会参加者

- ① 選手・監督（障スポにおいては選手。以下同じ。）
- ② 都道府県選手団本部役員（障スポにおいては役員。以下同じ。）
- ③ 大会役員
- ④ 競技会役員
- ⑤ 競技役員
- ⑥ 招待者
- ⑦ 報道関係者
- ⑧ 視察員
- ⑨ 式典出演者
- ⑩ 大会実施本部係員、大会補助員、大会協力者等
- ⑪ 競技会係員、競技会補助員、競技補助員、競技会協力者等
- ⑫ その他、県又は会場地市町村が必要と認めた者

イ 一般観覧者

(2) 実施期間

[国スポ]

原則として開会式3日前から閉会式終了1日後までの間とする。ただし、競技の特殊事情から必要と認められる場合は、会場地市町村が別に期間を定める。

[障スポ]

原則として開会式2日前から閉会式終了1日後までの間とする。

(3) 業務の範囲

ア 全国輸送、開・閉会式輸送、競技会場地輸送及びその他大会諸行事に直接関係する会場等の相互間の輸送とする。

イ 輸送対象者、車両、発着場所及び発着時刻を定め、計画的に行う輸送（以下「計画輸送」という。）は、原則として概ね2km未満の距離は行わない。

ただし、地域の交通事情等を勘案し、県と会場地市町村が協議の上、必要があると認められる場合は、この限りではない。

2 全国輸送

(1) 全国輸送計画の策定

県は、全国から来県する大会参加者の全国輸送計画を策定する。

なお、計画の策定にあたっては、各都道府県等に対する来会意向調査を実施する。

(2) 全国輸送の範囲

[国スポ]

各都道府県出発地から宿舎の間とする。

[障スポ]

各都道府県出発地から指定乗降地（全国から来県する選手及び役員等に示す来県・離県の際に利用する駅等をいう。以下同じ。）の間とする。

(3) 集合・解散の方法

大会参加者の全国輸送は、自由集合・自由解散（鉄道、航空機、路線バス等の公共交通機関又は自家用車等を利用して集合、解散することをいう。）とする。

なお、県は必要に応じて、列車の増発・増結、航空機の機体変更等座席の確保、その他の輸送上の便宜が図られるよう、関係機関及び関係団体等に要請する。

(4) 指定下車駅及び指定乗降地の設定

[国スポ]

県が会場地市町村と協議の上、宿舎の最寄り駅等から1か所以上を指定下車駅として設定する。

[障スポ]

県が、来県の利便性、駅構内及び周辺バス乗降状況、宿舎及び競技会場地へのアクセス等を勘案し、指定乗降地を設定する。

(5) 指定下車駅及び指定乗降地からの輸送

[国スポ]

指定下車駅と宿舎間の輸送は、輸送距離及び道路交通事情を勘案し、必要に応じて会場地市町村が行う。

[障スポ]

指定乗降地と宿舎間の輸送は、輸送距離、道路交通事情ならびに選手、役員等の参集方法を勘案し、県が行う。

(6) 輸送案内

[国スポ]

県が主要拠点に設置する総合案内所及び会場地市町村が指定下車駅等に設置する案内所において行う。

[障スポ]

県が指定乗降地に設置する総合案内所において行う。

3 開・閉会式輸送

(1) 開・閉会式輸送実施計画の策定

県は、式典に係る各種計画を十分に考慮し、開・閉会式輸送実施計画を策定する。

(2) 開・閉会式輸送の範囲

[国スポ]

選手・監督、都道府県選手団本部役員等の指定集合地（計画バス輸送の起点・終点となる宿舎近くのバス乗降が可能な場所をいう。以下同じ。）と開・閉会式会場の相互間を範囲とし、原則として計画輸送とする。

[障スポ]

選手、役員等の宿舎又は指定集合地と開・閉会式会場及び競技会場の相互間を範囲とし、原則として計画輸送とする。

(3) 指定集合地の設定

選手・監督、都道府県選手団本部役員等の計画輸送を円滑に行うため、宿舎の分布、参加人員及び道路交通事情等を勘案し、県と会場地市町村が協議して指定集合地を設定する。

(4) 指定集合地と宿舎間の誘導

[国スポ]

指定集合地と宿舎が異なる場合は、指定集合地と宿舎間の誘導を会場地市町村が行い、指定集合地において県に引継ぎを行う。

(5) 計画輸送経路の設定

県は、輸送距離、所要時間及び道路交通事情等を勘案し、関係機関及び関係団体等と協議の上、計画輸送経路を設定する。

(6) 添乗員の配置

計画輸送バスの各車両には、乗降時の誘導、乗車人員の把握及び事故発生等の緊急時における措置のため、原則として係員が添乗する。

(7) 一般観覧者の輸送

ア 公共交通機関を最大限に活用するとともに、主要鉄道駅及び臨時駐車場等からのシャトルバスの運行など必要な措置を講じて、円滑な輸送に努める。

イ 自家用車での上場は、原則として認めない。ただし、開・閉会式会場の車椅子利用者等の輸送については、別途配慮する。

(8) 車両許可証の交付

会場周辺に乗り入れを認める車両は、一般車両と容易に区別ができるように別に定める許可証を交付する。

4 競技会場地輸送

(1) 会場地市町村輸送・交通業務指針の策定

[国スポ]

会場地市町村の競技会場地輸送業務を推進するため、県は、会場地市町村輸送・交通業務指針を示し、業務の円滑な準備、運営に努める。

(2) 競技会場地輸送計画の策定

[国スポ]

会場地市町村輸送・交通業務指針に基づき、会場地市町村が競技会場地輸送計画を策定する。同一の競技が2市町村以上の会場地で行われる場合の選手・監督、都道府県選手団本部役員等の輸送は、関係市町村が協議の上、実施する。

[障スポ]

会場地市町村と調整を図り、県が競技会場地輸送計画を策定する。

5 円滑な輸送の実施

(1) 車両の確保

県及び会場地市町村は、関係機関及び関係団体等の協力を得て、必要なバス及びタクシー等の車両の確保に努める。

なお、県は、緊急時に備えた予備車も含め、開・閉会式輸送及び競技会場地輸送に必要な車両台数を把握し、会場地市町村と協議の上、必要に応じて関係機関及び関係団体等に車両確保の協力を要請する。

(2) 公共交通機関の利用促進

県及び会場地市町村は、鉄道及び路線バスの増便・増発を要請するなど、関係機関及び関係団体等の協力を得て必要な輸送力の確保に努め、公共交通機関の利用促進を図る。

(3) 駐車場の確保

県及び会場地市町村は、道路交通事情や大会参加者及び一般観覧者の車両台数を勘案し、関係機関及び関係団体等の協力を得て駐車場の確保に努め、その効率的な利用を図る。

(4) 交通安全対策

県及び会場地市町村は、会場周辺における交通の安全確保と円滑な輸送を図るため、関係機関及び関係団体等の協力を得て、駐車場及び乗降場における車両の誘導や交通規制等の必要な対策を講じるものとする。

なお、交通安全対策の実施にあたっては、地域住民等への広報活動を行い、協力を要請するとともに、交通案内標識、案内板等の設置及び各種広報媒体の積極的な活用により、円滑な通行を確保する。

(5) 実施に向けた取組

県は、各種調査を実施して、必要となる輸送力や輸送体制及び課題を把握し、解決に向けた対応策を講じるなど、関係機関及び関係団体等の協力を得て、円滑な輸送が実施できるように努める。

6 輸送本部の設置

県は、輸送・交通業務を円滑に遂行するため、輸送本部を設置する。

7 その他

上記のほか、輸送・交通業務に関して必要な事項については別に定める。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）の式典は、「国民体育大会開催基準要項」、「同規則」及び「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」並びに「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」を踏まえ、「紡ぐ感動 神話となれ」のスローガンのもと、「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 「チームみやざき」の一員である県民が様々な形で参加し、元気・勇気・感動を共有できる式典とする。
- (2) 宮崎の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で温かく迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
- (3) アスリートファーストの視点に立ち、簡素化を図りながらも創意工夫を凝らした式典とする。

2 式典の構成

式典は、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の開・閉会式、各競技会の表彰式（以下「表彰式」という。）、炬火イベントで構成する。

(1) 大会の開・閉会式

国スポの総合開・閉会式は、「国民体育大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手団入退場及び集団演技で構成する。障スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。

(2) 表彰式

国スポの表彰式は、「国民体育大会開催基準要項細則第9項」の規定により構成する。障スポの表彰式は、国スポに準じた構成とする。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事及び大会の開・閉会式で構成する。

3 式典の企画・運営

(1) 大会の開・閉会式

開・閉会式は、県が企画・運営に当たる。

(2) 表彰式

国スポの表彰式は、県が別に定める要項に基づき、会場地市町村が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。障スポの表彰式は、県が会場地市町村及び競技運営主管団体と協議の上、企画し、会場地市町村及び競技運営主管団体が運営に当たる。

(3) 炬火イベント

炬火イベントは、県及び会場地市町村が別に定める要項に基づくものとする。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会会則

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 準備委員会は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を宮崎県において開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

(事業)

第 3 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること。
- (2) 大会における実施競技及び会場地市町村に関すること。
- (3) 大会開催に必要な施設・設備の整備計画に関すること。
- (4) 大会開催及び準備に係る経費に関すること。
- (5) 関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他大会を開催するために必要な準備に関すること。

第 2 章 組織

(構成)

第 4 条 準備委員会は、会長、委員及び監事をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱又は任命する。

- (1) 県及び市町村を代表する者
- (2) 県及び市町村の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体その他関係機関・団体を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか大会開催の準備に関係のある者

(役員)

第 5 条 準備委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 8 名以内
- (3) 常任委員 60 名以内
- (4) 監 事 3 名以内

(役員を選任)

第 6 条 準備委員会の会長は、宮崎県知事をもって充てる。

- 2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が選任する。
- 3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第13条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱及び選任されたときから準備委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

(報酬)

第10条 会長、委員、監事、顧問及び参与の報酬は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第11条 準備委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第12条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 大会の開催に必要な方針に関すること。

(2) 会則の制定及び改廃に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

(5) 常任委員会に委任する事項に関すること。

(6) その他重要な事項に関すること。

- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員(代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。)の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

(常任委員会)

第13条 常任委員会は、委員長、副委員長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 4 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。
- 6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議・決定し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

(1) 総会から委任された事項に関すること。

(2) 専門委員会の設置及び専門委員会への付託事項及び委任事項に関すること。

(3) 総会を招集するいとまがない緊急な事項に関すること。

(4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。

- 8 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会において準用する。
- 9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

(専門委員会)

第14条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査・審議し、その結果を常任委員会に報告する。
- 3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第15条 会長は、総会及び常任委員会(以下「総会等」という。)を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第16条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務及び会計

(経費)

第17条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第18条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算については、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第19条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 準備委員会の財務及び会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第21条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成29年10月30日から施行する。

(経過措置)

2 準備委員会の平成29年度における会計年度は、第19条第1項の規定にかかわらず、前項に定める日から、平成30年3月31日までとする。

附 則

この会則は、令和元年7月1日から施行する。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1 基本方針

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第 8 1 回国民スポーツ大会及び第 2 6 回全国障害者スポーツ大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいがづくりに取り組むとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を進めます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

2 実施目標

(1) 「チームみやざき」で創りあげる大会

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

(2) スポーツの素晴らしさを体感できる大会

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいがづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

(3) 宮崎県の魅力を全国に発信する大会

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

(4) 「未来のみやざき」づくりを進める大会

大会の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

(5) 共に支え合う社会づくりを進める大会

スポーツを通じた交流の拡大や障がい者が主体的にスポーツに取り組む環境の整備を図ることで、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進するとともに、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会とします。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会委員等一覧

(令和4年8月22日現在)

会 長 (1名)	
知 事	

副 会 長 (8名)	
県議会議長	
副知事 (2名)	
県教育委員会教育長	
(公財) 県スポーツ協会会長	
県市長会会長	
県町村会会長	
県障がい者スポーツ協会会長	

顧問 (7名)	
国会議員	衆議院議員 (5名)
国会議員	参議院議員 (2名)

参 与 (54名)	
県 議 会	県議会議員 (32名)
教育委員会	県教育委員会委員 (5名)
報 道	(株) 朝日新聞社宮崎総局長、(株) 毎日新聞社宮崎支局長、(株) 読売新聞西部本社宮崎支局長、(株) 西日本新聞社宮崎支局長
	(株) 南日本新聞社宮崎支局長、(株) 日本経済新聞社宮崎支局長、(一社) 共同通信社宮崎支局長、(株) 時事通信社宮崎支局長、(株) 宮崎日日新聞社代表取締役社長
	(株) 夕刊ディリー新聞社代表取締役社長、日本放送協会宮崎放送局長、(株) 宮崎放送代表取締役社長、(株) テレビ宮崎代表取締役社長
	(株) エフエム宮崎代表取締役社長、(株) ケーブルメディアワイワイ代表取締役社長、宮崎ケーブルテレビ株式会社代表取締役社長、BTV株式会社代表取締役

県議会 (6名)	
副議長	○
総務政策常任委員会委員長	○
厚生常任委員会委員長	○
商工建設常任委員会委員長	○
環境農林水産常任委員会委員長	○
文教警察企業常任委員会委員長	○

学校関係 (23名)	
県県立学校長協会会長	○
県特別支援学校長会会長	○
県中学校校長会会長	○
県小学校校長会会長	○
県私立中学高等学校協会会長	○
県高等学校体育連盟会長	○
県中学校体育連盟会長	○
県小学校体育連盟会長	○
県内各9大学学長	
(独法) 都城工業高等専門学校校長	
(一社) 県専修学校各種学校連合会会長	
県国公立幼稚園・こども園長協会会長	
県幼稚園連合会会長	
(一社) 県保育連盟連合会理事長	
県認定こども園協会会長	

スポーツ (63名)	
(公財) 県スポーツ協会4副会長	○
県スポーツ推進審議会会長	○
県スポーツ推進委員協議会会長	○
県レクリエーション協会会長	○
県障がい者スポーツ協会チャレンジドスポーツイニシアチブ会長	○
県障がい者スポーツ指導者協議会会長	
県高等学校野球連盟会長	
県スポーツ少年団本部長	
県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	
県各競技団体51団体の長	

県 (14名)	
総合政策部長	○
総務部長	○
危機管理統括監	○
福祉保健部長	○
環境森林部長	○
商工観光労働部長	○
農政水産部長	○
県土整備部長	○
県警察本部長	○
県教育庁副教育長	○
企業局長	
病院局長	
県議会事務局長	
東京事務所長	

産業・経済 (14名)	
(一社) 県商工会議所連合会会頭	○
県商工会連合会会長	○
県中小企業団体中央会会長	○
県経営者協会会長	○
宮崎経済同友会代表幹事	○
(公社) 日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会会長	○
(一社) 県銀行協会代表理事	
県信用金庫協会会長	
県農業協同組合中央会会長	
県経済農業協同組合連合会代表理事会長	
県森林組合連合会代表理事会長	
県漁業協同組合連合会代表理事会長	
(一社) 県建設業協会会長	
九州電力株式会社宮崎支店長	

宿泊・衛生・観光 (6名)	
(公財) 宮崎観光協会会長	○
(公社) 県食品衛生協会会長	
(公社) 県栄養士会会長	
(一社) 全国旅行業協会宮崎県支部支部長	
(一社) 日本旅行業協会宮崎県地区委員会委員長	
県ホテル旅館衛生生活同業組合理事長	

市町村 (30名)	
県市議会議長会会長	○
県町村議会議長会会長	○
県市町村教育委員会連合会会長	○
県市町村教育長連絡協議会会長	○
26市町村長	

通信・輸送 (10名)	
(一社) 県バス協会会長	○
西日本電信電話株式会社宮崎支店長	
日本航空株式会社宮崎支店長	
全日本空輸株式会社宮崎支店長	
株式会社ソラシドエア地元価値共創室長	
九州旅客鉄道株式会社宮崎支社長	
西日本高速道路株式会社九州支社宮崎高速道路事務所長	
(一社) 県タクシー協会会長	
(一社) 県トラック協会会長	
宮崎カーフェリー株式会社代表取締役社長	

医療・福祉 (12名)	
(公社) 県医師会会長	○
(社福) 県社会福祉協議会会長	○
(一社) 県歯科医師会会長	
(一社) 県薬剤師会会長	
(公社) 県看護協会会長	
日本赤十字社宮崎県支部支部長	
(一社) 県身体障害者団体連合会会長	
(一社) 県手をつなぐ育成会会長	
県精神保健福祉連絡協議会会長	
(公財) 県視覚障害者福祉協会理事長	
(社福) 県聴覚障害者協会理事長	
県知的障害者施設協議会会長	

国 (5名)	
国土交通省九州運輸局宮崎運輸支局長	
国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所長	
宮崎海上保安部長	
宮崎地方気象台長	
自衛隊宮崎地方協力本部長	

監 事 (3名)	
県会計管理者兼会計管理局長	
県市長会事務局長	
県町村会事務局長	

社会教育 (13名)	
県地域婦人連絡協議会会長	○
県PTA連合会会長	
県高等学校PTA連合会会長	
県幼稚園PTA連合会会長	
県私立中学高等学校保護者会連合会会長	
日本ボーイスカウト宮崎連盟理事長	
(一社) ガールスカウト県連盟連盟長	
(公財) 県老人クラブ連合会会長	
(公社) 県青少年育成県民会議会長	
(一社) 県子ども会育成連絡協議会代表理事会長	
(公社) 県緑化推進機構理事長	
県公民館連合会会長	
(公財) 県国際交流協会会長	

警備・消防 (3名)	
(公財) 県消防協会会長	
(公財) 県防犯協会連合会会長	
(一財) 県交通安全協会会長代表理事	

文化・芸術 (1名)	
(公財) 県芸術文化協会会長	

○印は、常任委員 (47名)

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会 構成図

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会
【事務局：宮崎県総合政策部 国スポ・障スポ準備課】

総 会

- 開催基本方針の決定
- 会則の制定・改廃
- 事業計画・予算の審議
- 常任委員会への審議委任
- その他重要事項の決定

□ 委任 ↓ □ 報告 ↑

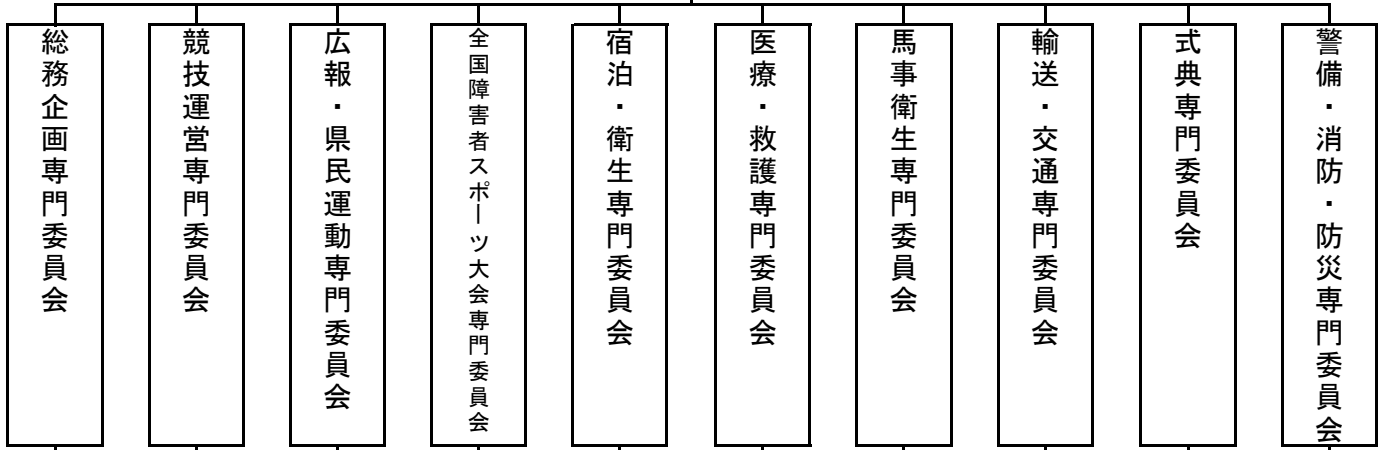
常任委員会

- 総会からの委任事項の審議・決定
(各基本方針や計画等の決定)
- 専門委員会の設置
- 専門委員会への付託事項の審議・決定

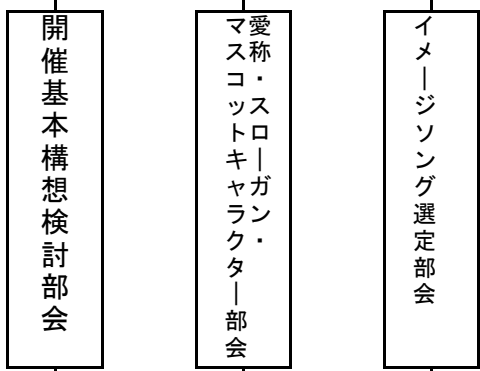
□ 委任・付託 ↓ □ 報告 ↑

専門委員会

- 常任委員会から付託された事項の調査、審議



H29年設置 H30年設置 R元年設置 R2年設置 (R3年再編) R2年設置 R4年設置



R元年設置 R元年設置 R4設置

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会則第 1 4 条第 3 項の規定に基づき、専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の種類等)

第 2 条 委員会の種類並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第 3 条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1 名

(2) 副委員長 1 名

2 委員長及び副委員長は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会長(以下「会長」という。)が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

第 5 条 委員会は、運営上必要があるときは、部会を設けることができる。

2 部会の委員は、会長が委嘱する。

3 部会に関する事項は、委員長が定める。

(委任)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成 2 9 年 1 0 月 3 0 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 3 0 年 7 月 9 日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年 7 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 2 年 7 月 6 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 3 年 2 月 1 5 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 2 月 1 4 日から施行する。

附 則
この規程は、令和4年8月22日から施行する。



第 81 回 国 民 ス ポ ー ツ 大 会

第 26 回 全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会



宮 崎 県 準 備 委 員 会

第 1 回 馬 事 衛 生 専 門 委 員 会

報 告 事 項

いちご一会とちぎ国体における馬術競技会について

- ・いちご一会とちぎ国体における馬術競技会（馬事衛生）について・・・P 1～6
- ・【参考】国民体育大会における馬事衛生業務概要・・・・・・・P 7～8



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

令和 4 年 1 1 月 9 日（水）

宮 崎 県 防 災 庁 舎 防 5 3 号 室

いちご一会とちぎ国体における 馬術競技会（馬事衛生）について

会 期 【リハーサル大会】

令和4年6月4日（土）・6月5日（日）

【本大会】

令和4年10月6日（木）～10月10日（月）

会 場 栃木県那須塩原市 地方競馬教養センター

馬事衛生本部（馬事総務担当、入退厩確認担当）



- ・ 馬事総務担当、入退厩確認担当が従事する。
- ・ 馬事衛生業務を統括、衛生消耗品の管理等を行う。

入厩の流れ（車両誘導担当）



- ・ 会場内外の馬運車・帯同車の誘導を行う。
- ・ 車両運転手に駐車場等の案内をする。

入厩の流れ（消毒担当）



- ・ 厩舎地区に進入する車両を動力噴霧器により消毒する。
- ・ 会場内の消毒マットを管理する。

入厩の流れ（手帳確認担当・馬体照合担当）



- ・手帳確認担当は、馬運車運転手から健康手帳及び登録証原本を預かり、事前にもらったコピーと照合する。
- ・馬体照合担当は、登録証の馬かどうかを斑紋^{はんもん}等で照合。

健康検査（防疫検査担当）



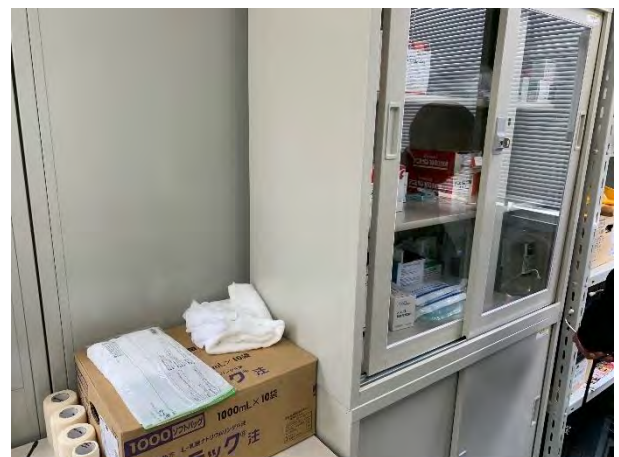
- ・入厩時、馬体照合担当と連携し、参加馬の健康検査を行う。
- ・入厩期間中、毎日厩舎内を巡回し、健康観察を行う。

厩舎管理（厩舎管理担当）



- ・ 厩舎地区内を巡回して清掃状況を確認する。
- ・ 衛生害虫の発生防止・駆除作業（殺虫剤の散布等）を行う。

馬診療・装蹄所（馬診療・装蹄担当）



- ・ 参加馬の診療及び装蹄依頼を受け付け、救護獣医師、装蹄師と連絡調整する。

退厩の流れ（荷物運搬担当）

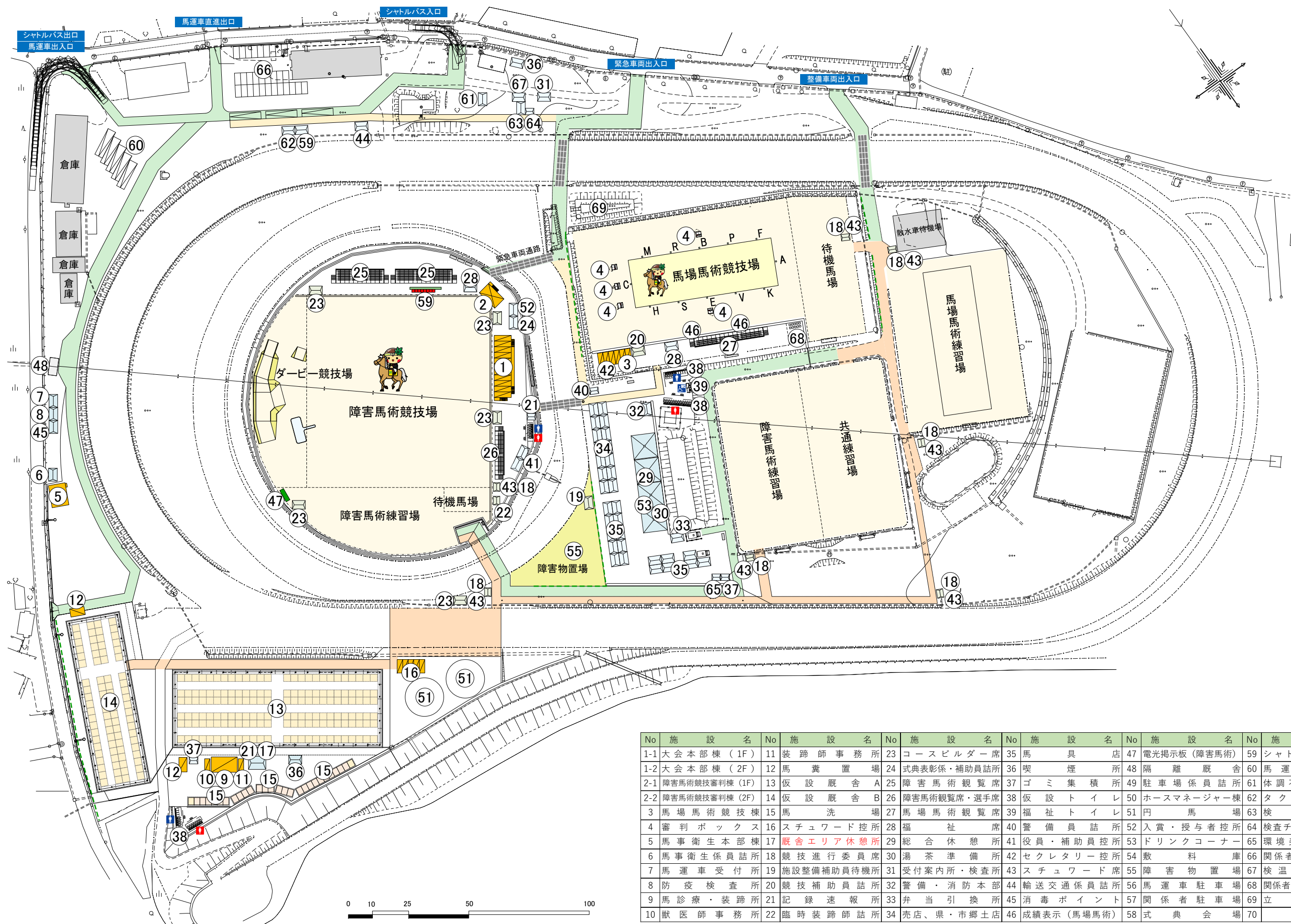


- ・ 厩舎から馬運車（馬降所）への馬具等の運搬補助を行う。

厩舎



- ・ 厩舎内は、厩舎地区入場許可証（リストバンド）による立ち入り規制を行う。



No	施設名	No	施設名	No	施設名	No	施設名	No	施設名	No	施設名
1-1	大会本部棟(1F)	11	装蹄師事務所	23	コースビルダー席	35	馬具店	47	電光掲示板(障害馬術)	59	シャトルバス乗降所
1-2	大会本部棟(2F)	12	馬糞置場	24	式典表彰係・補助員詰所	36	喫煙所	48	隔離厩舎	60	馬運車待機所
2-1	障害馬術競技審判棟(1F)	13	仮設厩舎A	25	障害馬術観覧席	37	ゴミ集積所	49	駐車場係員詰所	61	体調不良者隔離所
2-2	障害馬術競技審判棟(2F)	14	仮設厩舎B	26	障害馬術観覧席・選手席	38	仮設トイレ	50	ホースマネージャー棟	62	タクシー乗降所
3	馬場馬術競技棟	15	馬洗場	27	馬場馬術観覧席	39	福祉トイレ	51	円馬場	63	検温所
4	審判ボックス	16	スチュワード控所	28	福祉席	40	警備員詰所	52	入賞・授与者控所	64	検査チェックポイント
5	馬事衛生本部棟	17	厩舎エリア休憩所	29	総合休憩所	41	役員・補助員控所	53	ドリンクコーナー	65	環境美化係員詰所
6	馬事衛生係員詰所	18	競技進行委員席	30	湯茶準備所	42	セクレタリー控所	54	敷料庫	66	関係者・福祉駐車場
7	馬運車受付所	19	施設整備補助員待機所	31	受付案内所・検査所	43	スチュワード席	55	障害物置場	67	検温所係員控所
8	防疫検査所	20	競技補助員詰所	32	警備・消防本部	44	輸送交通係員詰所	56	馬運車駐車場	68	関係者エリア(馬場馬術)
9	馬診療・装蹄所	21	記録速報所	33	弁当引換所	45	消毒ポイント	57	関係者駐車場	69	立ち見席
10	獣医師事務所	22	臨时装蹄師詰所	34	売店・県・市郷土店	46	成績表示(馬場馬術)	58	式典会場	70	



国民体育大会における馬事衛生業務概要

1 馬術競技について

(1) 馬術競技とは

馬術競技は、他のスポーツと異なり、馬と選手が一体となって競技を行い、騎乗技能を競う競技である。国体では、馬場馬術競技、障害飛越競技、総合馬術競技が行われる。

馬場馬術競技・・・馬場内で3種の歩き方である常歩（なみあし）、速歩（はやあし）、駈歩（かけあし）で様々な運動を演じて、馬の調教レベル、騎手の技量を競い、技術点と芸術性評価点の合計で順位を決定する。

障害飛越競技・・・場内に設けられた様々な障害物をミス無く飛び越し、スピードや耐久力、飛越能力を競う競技である。障害物の落下や拒否（馬が障害物を避ける）などの過失があると減点となる。

総合馬術競技・・・馬場馬術競技と障害飛越競技の両方の成績の合計によって順位を競う競技である。



馬場馬術競技



障害飛越競技

(2) 馬頭数及び参加者延べ人数

開催年	開催県	開催地	馬頭数	① 選手・監督	② 関係者	③ 観覧者	①+②+③
H 2 7	和歌山県	兵庫県 三木市	174 頭	1,695 人	3,552 人	12,019 人	17,266 人
H 2 8	岩手県★	奥州市	172 頭	1,992 人	2,791 人	12,277 人	17,060 人
H 2 9	愛媛県	兵庫県 三木市	178 頭	1,560 人	1,806 人	6,634 人	10,000 人
H 3 0	福井県	静岡県 御殿場市	177 頭	1,530 人	2,001 人	5,039 人	8,570 人
R 元	茨城県★	那珂市	178 頭	1,280 人	5,000 人	21,953 人	28,233 人

★は県内で開催した県

2 馬事衛生業務について

(1) 馬事衛生業務とは

馬術競技においては、出場馬に係る防疫対策や健康管理、厩舎など会場内の衛生管理等を行う馬事衛生対策が必要となる。

他の競技では会場地市町村と競技団体が競技運営を行うのに対して、馬術競技は家畜（馬）の防疫にも関わることから、県も馬事衛生対策の面から競技運営に携わる。

馬事衛生対策の実施にあたっては、今後策定する「馬事衛生対策要項」、「馬事衛生対策実施要領」に基づき、家畜防疫員の配置、入退厩の管理、馬運車・厩舎等の消毒、馬体照合・防疫検査、馬診療所・装蹄所の運営等を行う。

(2) 馬事衛生業務の実施期間及び従事人数 (先催県実績)

① 実施期間 11日間

(会場準備(消毒)2日間、入厩3日間、競技5日間、片付け1日間)

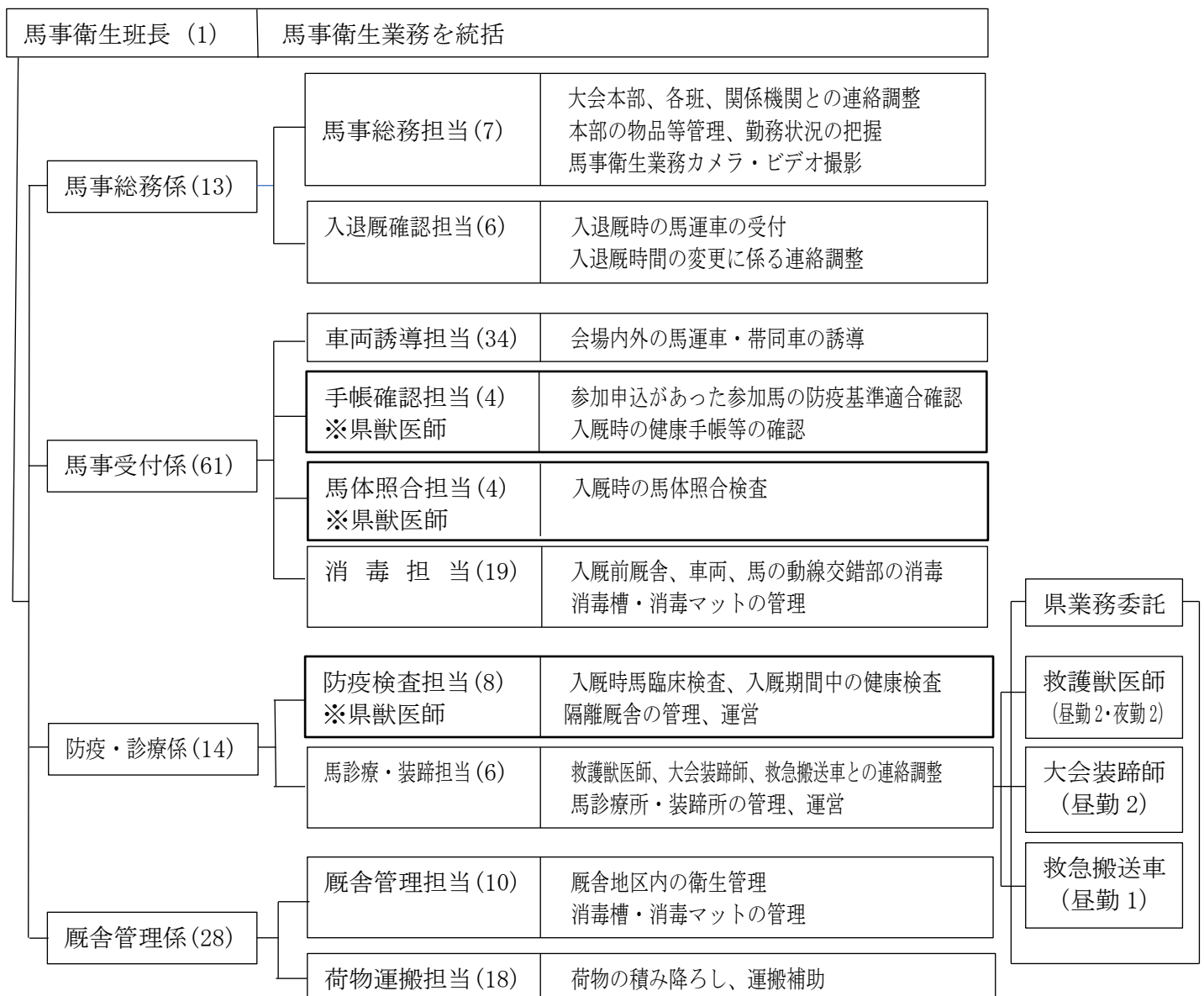
1日目	2日目	3～5日目	6～10日目	11日目
消毒	準備	入厩 (約180頭)	競技 退厩	片付け

② 従事者人数 (栃木県からの聞き取り)

	県職員		救護獣医師 (委託)	大会装蹄師 (委託)	救急搬送車 (委託)
	獣医師 (防疫検査等)	畜産課系職員 (厩舎管理等)			
実人数	16人	14人	昼2人夜2人	昼2人	昼1人

※その他、県職員約80名が車両誘導、消毒、荷物運搬等で従事

(3) 馬事衛生業務の体制 (栃木県からの聞き取り)



※ () 内の数字は合計人数 (配置人数は日ごとに異なる)



第81回国民スポーツ大会
第26回全国障害者スポーツ大会



宮崎県準備委員会

第1回馬事衛生専門委員会

その他

- (1) 馬事衛生対策要項策定に向けた検討について・・・P 1
【参考①】第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
医事・衛生基本方針・・・P 2
【参考②】第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
医事・衛生基本計画・・・P 3～4
【参考③】いちご一会とちぎ国体 馬事衛生対策要項・・・P 5～21
- (2) 馬事衛生業務に係る開催年までの準備スケジュール（案）について・・・P 22



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ



令和4年11月9日（水）

宮崎県防災庁舎防53号室

その他（１）

馬事衛生対策要項策定に向けた検討について

医事・衛生基本方針及び医事・衛生基本計画に基づき、第81回国民スポーツ大会馬術競技会での防疫対策、出場馬の健康管理や輸送、入退厩や厩舎の衛生管理業務等の実施について、基本的な事項を示した馬事衛生対策要項を策定します。

※**参考①** 医事・衛生基本方針、**参考②** 医事・衛生基本計画を参照

1 策定項目（案）

馬事衛生対策要項では次の項目などについて、基本的な事項を定めていくことを予定しています。

(1) 防疫対策

- 家畜防疫員の配置
- 防疫検査の実施（対象とする伝染病、予防接種の条件 等）
- 消毒、害虫駆除の実施
- 伝染病発生時の対応、隔離厩舎の設置

(2) 出場馬の健康管理

- 出場馬の健康検査（健康検査の実施 等）
- 馬診療（診療所の設置、獣医師の配置、診療時間・費用 等）
- 装蹄の実施（装蹄所の設置、装蹄師の配置、実施時間・費用 等）

(3) 厩舎等の管理

- 入退厩の手続き
- 厩舎等の衛生管理の実施

(4) 出場馬の輸送

(5) 飼料及び敷料

※**参考③** いちご一会とちぎ国体 馬事衛生対策要項（栃木県策定）を参照

2 策定スケジュール（案）

年 月	業務内容
R5 ～7月	馬事衛生対策要項（素案）を県事務局が作成
7～8月	素案について、各委員宛に文書により意見照会
9月	意見を反映して修正案を作成⇒各委員宛に報告 修正案について、（公社）日本馬術連盟に事前確認
10月	最終案の作成
11月	第2回馬事衛生専門委員会の開催 最終案の審議 → 馬事衛生対策要項の決定

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者等」という。）の医事・衛生については、関係機関・団体等の協力を得て、清潔で快適な環境の下で十分な活躍と観覧ができるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 医療救護

参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。

2 防 疫

参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

3 食品衛生

参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、宿舎及び食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

4 環境衛生

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等はもとより、広く県民の協力を得て、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策、動物の適正管理等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

5 馬事衛生

馬術競技出場馬の健康保持のため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本計画

第８１回国民スポーツ大会・第２６回全国障害者スポーツ大会医事・衛生基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、医事・衛生業務を円滑に推進する。

１ 医療救護対策

（１）救護所及び救護本部の設置

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者等」という。）の傷病の発生に速やかかつ適切に対処するため、開・閉会式会場、競技会場等に救護所を設置する。

また、必要に応じ医療救護業務を統括するため、救護本部を設置する。

（２）傷病の発生時の対応等

傷病の予防に関する啓発及び発生時の患者への対応については、パンフレットの作成・配布等により、各都道府県、宿泊施設、医療機関等に周知徹底を図る。

２ 防疫対策

（１）防疫に関する知識の普及及び意識の啓発

参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関及び関係団体等の協力を得て、防疫に関する知識の普及及び意識のより一層の啓発を図る。

（２）健康診断の実施

参加者等の、特に消化器系感染症の発生予防のため、宿舎、弁当調製施設等の業務従事者を対象とした、保菌検査（検便）等の健康診断実施の励行に努める。

３ 食品衛生対策

（１）食品衛生に関する知識の普及及び意識の啓発

食品に起因する衛生上の危害を防止するため、宿舎及び食品取扱施設の営業者等に対し、食品衛生に関する知識の普及及び意識のより一層の啓発を図り、あわせて自主的な衛生管理の向上を促す。

（２）監視・指導の実施

宿舎や弁当調製施設など食品取扱施設を対象に、監視・指導を行う。

４ 環境衛生対策

（１）会場及び生活環境の美化

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、開・閉会式会場、競技・練習会場、河川・道路等公共の場所及び観光地等の清掃を実施するとともに、廃棄物の不法投棄の防止を図り、会場等の美化に努める。

（２）廃棄物の発生抑制及びリサイクルの推進

競技会場等における廃棄物の発生抑制に努めるとともに、分別収集を徹底し、可能な限りリサイクルを行う。

- (3) 宿舎の衛生対策
宿泊者が快適に過ごせるよう、宿舎に対して必要な指導等を行い、宿舎の衛生対策に努める。
- (4) 飲料水の衛生対策
安全な飲料水を確保するため、必要に応じて水質検査等を行い、飲料水の衛生対策に努める。
- (5) 衛生害虫等の駆除
生活環境の衛生保持を図るため、必要に応じて衛生害虫等の駆除を行い、発生源対策に努める。
- (6) 動物の適正管理
会場及び宿舎等の周辺における動物による危害防止を図るため、動物の適正管理等の対策に努める。
- (7) 受動喫煙防止対策
望まない受動喫煙が生じないように、競技会場等における受動喫煙防止対策に努める。

5 馬事衛生対策

- (1) 防疫対策
馬術競技出場馬の防疫に万全を期するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫検査や消毒、害虫駆除等の必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努める。
- (2) 出場馬の健康管理
出場馬の健康保持のため、健康検査や健康観察、装蹄等を実施し、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。
- (3) 厩舎等の管理運営
出場馬の円滑な入退厩、敷料等の確保や施設の衛生対策等、厩舎等の管理運営を適切に行う。

6 その他

上記のほか、医事・衛生業務の実施に関して必要な事項については、別に定める。

いちご一会とちぎ国体 馬事衛生対策要項

1 趣旨

この要項は、いちご一会とちぎ国体 衛生基本計画に基づき、馬術競技参加馬（以下「参加馬」という。）の防疫、健康管理、輸送等馬事衛生対策に関し必要な事項を定める。

2 業務の実施主体

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会（以下「県委員会」という。）及びいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会那須塩原市実行委員会（以下「市委員会」という。）は、馬術競技会場（以下「会場」という。）に馬事衛生本部を設置し、関係機関・団体等の協力を得て、馬事衛生対策を実施する。

3 防疫対策

（１）家畜防疫員の配置

参加馬の防疫に万全を期すため、馬事衛生本部に、家畜防疫員（家畜伝染病予防法第 53 条第 3 項に定める家畜防疫員をいう。）を配置する。

（２）防疫検査

家畜防疫員は、参加馬が会場に到着したとき、家畜伝染病予防法施行規則による「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」及び「日本馬術連盟乗馬登録証」の提示を求め、馬インフルエンザ予防接種に係る次の基準を満たしていることを確認する。

なお、基準を満たしていない馬は入厩させないものとする。

ア 基礎接種として、初回ワクチン接種を実施してから 21 日以上・2 か月以内に 2 回目のワクチン接種を行うこと。補強接種については、基礎接種（2 回目）から 7 か月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は 1 年以内に継続的に補強接種を受けていること。以上が満たされていない場合は、再度基礎接種から実施していること。

イ 平成 20（2008）年 3 月 31 日以前に基礎接種を完了している馬は、基礎接種の後の最初の補強接種は 1 年以内であれば可とする。また、2 回の基礎接種の間隔は、2 週間以上 2 か月以内であれば可とする。

ウ 入厩する 6 か月＋21 日以内に補強接種又は基礎接種（2 回目）を受けていること。

エ 入厩する前 1 週間以内のワクチン接種は接種歴として認めない。

オ 輸入馬は、輸入後にワクチン接種を基礎接種から始めることが望ましい。ただし、輸入前の接種歴の写しが添付され、獣医師がその接種歴を証明している場合は、接種歴として認める。

（３）厩舎地区

馬事衛生本部は、会場内に厩舎地区（厩舎等が設置され、柵等により他から区分された区域をいう。）を設け、衛生的に管理する。

厩舎地区には、厩舎のほか汚物堆積場その他参加馬の健康管理等に必要な施設等を設置する。

(4) 消毒及び衛生害虫駆除

馬事衛生本部は、馬降所（馬運車を停車させ、参加馬の積み降ろしを行う場所をいう。）への入場口付近、並びに厩舎地区及び厩舎の出入口に、入場する車両及び立ち入る者の消毒を行うため、消毒設備を設置するとともに、厩舎地区の害虫駆除を行う。

ア 厩舎の消毒

厩舎の消毒は、参加馬の到着前5日以内及び退厩後直ちに行う。

イ 馬降所に入場する車両の消毒

馬運車等馬降所に入場する車両の消毒は、車両が会場に到着したときに行う。

ウ 厩舎に立ち入る者の消毒

厩舎に立ち入る者に、厩舎に出入りする際に手指の洗浄又は消毒及び靴の消毒を行わせる。

エ 衛生害虫等の駆除

厩舎及び汚物堆積場に殺虫剤を散布し、衛生害虫の発生予防及び駆除に努める。

(5) 立入りの制限

厩舎地区及び馬降所を、家畜伝染病予防法施行規則に定める衛生管理区域とし、立入りは定められた出入口からのみとするとともに、立ち入る者は、あらかじめ市委員会が配付する「入厩許可証」を身につけるものとする。

(6) 伝染性疾病発生時の対応

救護獣医師（参加馬の傷病の発生に対し、応急処置及び救急の治療にあたる獣医師（次に掲げる外来獣医師を除く）をいう。）、外来獣医師（必要に応じて参加都道府県が帯同する獣医師をいう。）、及びホースマネージャー（参加馬の管理に係る参加都道府県の責任者をいう。）は、参加馬に伝染性疾病を疑う事例が発生した場合は、直ちに馬事衛生本部に通報するとともに、その指示に従う。

馬事衛生本部は、家畜伝染病予防法に基づき、栃木県知事に速やかに届け出るとともに、まん延の防止のために必要な措置を講じる。

(7) 隔離厩舎の設置

伝染性疾病を発症（疑う事例も含む。）した参加馬を隔離するため厩舎地区外に隔離厩舎を設置する。

4 参加馬の健康管理

(1) 健康検査

家畜防疫員は、参加馬が入厩する前及び退厩する前に、馬降所等で健康検査を実施する。検査は、視診、聴診、打診、及び触診等による一般検査とする。ただし、家畜防疫員が必要と認める時は、血液、尿等の特殊検査を実施する。

(2) 健康観察

ホースマネージャーは、入厩期間（参加馬が厩舎に入厩している期間をいう。）中、毎日、管理する参加馬の健康観察及び体温測定を行い、異常の早期発見に努める。

異常が認められる場合には、救護獣医師又は外来獣医師に通報するとともに、家畜防疫員の指示に従う。

(3) 馬診療

馬事衛生本部は、参加馬の傷病発生等に対処するため、令和4（2022）年10月3日（月）から令和4（2022）年10月10日（月）までの間、厩舎地区に馬診療所を設置し、救護獣医師を配置する。

ア 診療時間

馬診療所の診療時間は、昼間及び夜間とする。

イ 診療費用

診療に要した費用は、参加都道府県の負担とし、原則として、馬診療所において支払うものとする。

ウ 移送

救護獣医師は、必要に応じて獣医療機関へ移送する等適切な措置を講じるものとする。
なお、移送に要した経費は、参加都道府県の負担とする。

エ 実績等の報告

救護獣医師は、診療業務の実績等を「診療簿」（様式1）、「診療日報」（様式2）、及び「診療実績書」（様式3）により、診療日翌朝までに馬事衛生本部長に報告する。

オ 外来獣医師による診療活動

外来獣医師は、入厩期間中に診療活動を行う場合には、診療前に「外来獣医師診療届」（様式4）を、診療後に「外来獣医師診療報告書」（様式5）を、馬事衛生本部長を經由して獣医師団長に提出する。

(4) 装蹄

馬事衛生本部は、参加馬の落鉄等に対応するため、令和4（2022）年10月3日（月）から令和4（2022）年10月10日（月）までの間、厩舎地区に装蹄所を設置し、大会装蹄師を配置する。

ア 開所時間

装蹄所の開所時間は、昼間とする。

イ 装蹄費用

装蹄に要した費用は、参加都道府県の負担とし、原則として、装蹄所において支払うものとする。

ウ 実績等の報告

大会装蹄師は、装蹄業務の実績等を「装蹄簿」（様式6）、「装蹄日報」（様式7）、及び「装蹄実績書」（様式8）により、従事日の業務終了後、速やかに馬事衛生本部長に報告する。

エ 外来装蹄師による装蹄活動

外来装蹄師（必要に応じて参加都道府県が帯同する装蹄師をいう。）は、入厩期間中に装蹄活動をする場合には、装蹄前に「外来装蹄師装蹄届」（様式9）を、装蹄後に「外来装蹄師装蹄報告書」（様式10）を、馬事衛生本部長を經由して獣医師団長に提出する。

5 厩舎等の管理

(1) 厩舎の使用期間等

ア 使用期間

厩舎の使用期間は、原則として令和4（2022）年10月3日（月）の午前8時から令和4（2022）年10月10日（月）の午後5時までとする。

イ 入厩及び退厩の日時

入厩日は、令和4（2022）年10月3日（月）から令和4（2022）年10月5日（水）までとし、令和4（2022）年10月3日（月）及び令和4（2022）年10月4日（火）は、午前8時から午後5時までの間、令和4（2022）年10月5日（水）は午前8時から正午までの間に入厩する。

退厩日は、令和4（2022）年10月6日（木）から令和4（2022）年10月10日（月）とし、午前8時から午後5時までの間に退厩する。

(2) 入厩等の手続き

ア 手続

馬運送責任者（参加馬の輸送に係る参加都道府県の責任者をいう。以下同じ。）は、「入・退厩（変更）申込書」（様式11）及び「予防接種確認票」（様式12）を、馬運車ごとに別葉にして、電子メールにより市委員会に提出する。

なお、提出期日は、馬術競技参加申込書の提出期日とする。

また、入厩後に退厩日時を変更する場合は、馬事衛生本部に退厩の2日前までに申し込むものとする。

イ 入厩予定日時等の連絡

馬輸送責任者は、参加馬の輸送の出発に際し、入厩予定日時、輸送頭数、車両番号等を、電話又はファクシミリにより、馬事衛生本部に連絡する。

なお、連絡後に変更が生じた場合も同様とする。

(3) 衛生管理

馬事衛生本部は、厩舎等の施設を常に清潔に保つよう衛生上必要な措置を講じる。特に、汚物堆積場は、衛生的に管理し、汚物を適正に処理する。

また、ホースマネージャーは、厩舎内外を清潔に保持し、衛生害虫の発生防止等に努める。

6 参加馬の輸送

参加馬の輸送は、馬運車を使用するものとし、参加都道府県の責任で行う。

なお、参加馬の輸送に要する費用は、参加都道府県の負担とする。

7 参加馬以外の馬との接触の防止

馬事衛生本部は、参加馬の通路を定め、定められた通路以外に参加馬が立ち入らないよう徹底するなど参加馬と参加馬以外の馬が接触しないよう対策を講じる。

8 飼料及び敷料

(1) 飼料

参加馬の飼料は、参加都道府県が入厩時に持参するものとする。なお、持参できない場

合等は、事前に購入業者の斡旋を申し込むものとする。

(2) 敷料

敷料は、オガ粉等とし、参加馬の入厩前に各馬房に配布し、不足が生じた場合は適宜支給する。

9 参加都道府県の責務

参加都道府県は、参加馬の輸送の出発に際し、参加馬の健康状態及び装蹄に十分配慮し、良好な状態で参加させるよう努める。

また、入厩期間中は、参加馬の健康管理、飼料、馬具等の保管、厩舎内外の清潔の保持等について責任を持って行う。

10 県委員会と市委員会の業務分担等

県委員会及び市委員会は、馬事衛生に係る業務の分担及び経費負担について、別途協議のうえ定める。

11 その他

この要項に定めるもののほか、馬事衛生に必要な事項については、県委員会及び市委員会、又は馬事衛生本部が、関係機関・団体等と協議のうえ定める。

(様式1)

診 療 簿

馬 名							登録番号	
都道府県		馬番号		性別		厩舎番号		
生年月日	年 月 日	生 歳	毛色		品種		産 地	
特 徴								
所有者	ふりがな 氏名							
	住所							

診療内容

診療日	症状	診療内容	使用薬剤	ふりがな 救護獣医師名	料金	精算
料金合計・精算状況						

(様式2)

診 療 日 報

1. 診療年月日 令和4年 月 日(曜日)

2. 診療頭数

(単位:頭)

内科疾患	外科疾患	計	
		実頭数	延べ頭数

3. 診療の内訳

登録 番号	受付 時刻	馬番号	馬名	都道府 県名	現症・ 経過	使用薬剤	ふりがな 救護獣医師名	備考 往・診 内・外 新・再
特記事項								

(様式3)

診 療 実 績 書

(単位:頭)

区分 月 日	内科疾患	外科疾患	計	
			実頭数	延べ頭数
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
月 日()				
計				

(様式4)

外来獣医師診療届

令和4年 月 日

いちご一会とちぎ国体 馬術競技
 獣医師団長 様
 (いちご一会とちぎ国体 馬事衛生本部長 経由)

ふりがな
 獣医師名

いちご一会とちぎ国体 馬術競技において、外来獣医師として診療を実施したく、下記のとおり届け出ます。

なお、診療の実施にあたっては、いちご一会とちぎ国体 馬事衛生対策要項及び日本馬術連盟競技会規程を遵守するとともに、日本馬術連盟獣医規程の精神を尊重します。

記

1 診療獣医師

ふりがな
 氏名

登録番号

携帯電話番号

2 診療所

名 称

住 所

電話番号

FAX番号

3 診療実施予定日

令和4年 月 日 () ~ 日 ()

(様式5)

外来獣医師診療報告書

令和4年 月 日

いちご一会とちぎ国体 馬術競技
 獣医師団長 様
 (いちご一会とちぎ国体 馬事衛生本部長 経由)

ふりがな
 獣医師名

いちご一会とちぎ国体 馬術競技において、下記のとおり参加馬の診療を実施しましたので、報告します。

記

診療内容

診療日	馬番号	馬名	所属 都道府県	診療内容	使用薬剤

(様式6)

装 蹄 簿

馬 名						登録番号	
団 体 名		馬番号		性別		厩舎番号	
生年月日	年	月	日生	歳	毛色	品種	産 地
特 徴							
所 有 者	ふりがな 氏名						
	住所						

装蹄内容

装蹄日	装蹄内容	ふりがな 装蹄師名	料金	精算
料金合計・精算状況				

(様式7)

装 蹄 日 報

1. 装蹄年月日 令和4年 月 日(曜日)

2. 装蹄頭数

(単位:頭)

新装蹄鉄 A	改装蹄鉄 B (クランボン加工を含む。)	釘蹄 C	その他 D	計 A+B+C+D

3. 装蹄の内訳

登録 番号	受付 時刻	馬番号	馬名	都道府 県 名	内 訳				ふりがな 装蹄師名	備 考
					左前	右前	左後	右後		
特記事項										

(様式8)

装 蹄 実 績 書

(単位:頭)

区分 月 日	新装蹄鉄	改装蹄鉄 (クランボン加工を含む。)	釘 蹄	その他	計
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
月 日()					
計					

(様式9)

外来装蹄師装蹄届

令和4年 月 日

いちご一会とちぎ国体 馬術競技
 獣医師団長 様
 (いちご一会とちぎ国体 馬事衛生本部長 経由)

ふりがな
 装蹄師名

いちご一会とちぎ国体 馬術競技において、外来装蹄師として装蹄を実施したく、下記のとおり届け出ます。

なお、装蹄の実施にあたっては、いちご一会とちぎ国体 馬事衛生対策要項を遵守します。

記

1 装蹄師

ふりがな
 氏名

登録番号

携帯電話番号

2 装蹄所

名 称

住 所

電話番号

FAX番号

3 装蹄実施予定日

令和4年 月 日 () ～ 日 ()

(様式10)

外来装蹄師装蹄報告書

令和4年 月 日

いちご一会とちぎ国体 馬術競技
 獣医師団長 様
 (いちご一会とちぎ国体 馬事衛生本部長 経由)

ふりがな
 装蹄師名

いちご一会とちぎ国体 馬術競技において、下記のとおり参加馬の装蹄を実施しましたので、報告します。

記

装蹄内容

装蹄日	馬 番 号	馬 名	所 属 都道府県	装 蹄 内 容

(様式11)

入・退厩（変更）申込書

令和4年 月 日

いちご一会とちぎ国体那須塩原市実行委員会 会長 様

都 道 府 県 名

参加都道府県監督氏名^{ふりがな}馬輸送責任者氏名^{ふりがな}

男・女

次のとおり、入・退厩(変更)申込みをいたします。

記

1. 出発地: 都道府県 市町村
2. 出発予定日時: 令和4年 月 日 () 午前・午後 時 分
3. 入厩予定日時: 令和4年 月 日 () 午前・午後 時 分
4. 退厩予定日時: 令和4年 月 日 () 午前・午後 時 分
5. 退厩変更日時: 令和4年 月 日 () 午前・午後 時 分
(変更時に記入)
6. 馬運車: t車、全長 m、全幅 m、車両番号
7. 馬運車の変更: t車、全長 m、全幅 m、車両番号
(変更時に記入)
8. 馬運車の滞在: (1) 入厩期間中、会場地駐車場に滞在 [する・しない]
※どちらかを○で囲むこと。
(2) 月 日 () 午前・午後 時頃に再来場する。
※(1)で滞在しないと回答した場合、記入すること。
9. 帯同車両: (1) 有 車種 : 普通車 台、トラック 台
(2) 無
10. 馬取扱責任者: 氏名 携帯電話 () —
11. 馬輸送責任者連絡先: 住所 〒
- 電話 () —
- 携帯電話 () —
- ※馬運車持込携帯電話 () —
- ※馬輸送責任者が馬運車に乗車しない場合、記入すること。

12. 入・退厩馬:

馬名	登録番号	馬名	登録番号
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

※ 様式11は、馬運車ごと別葉で作成すること。

※ 日本馬術連盟乗馬登録証の裏表の写し、馬の検査・予防接種・薬浴・投薬証明手帳(①表紙、②馬インフルエンザ予防接種の基礎・補強接種から最新接種に至る全ての予防接種証明)が記載されているページの写しを併せて提出のこと。

※ 変更申込みの場合は、下記部分の記入は変更箇所のみで可とする。

(様式12)

予防接種確認票

太線囲み内をご記入ください

次の書類を裏面にホッチキス止めしてください
 (1)「健康手帳」の以下のページの写し
 ① 表紙
 ② 馬インフルエンザ: 基礎接種～最新まで全ての接種証明
 (2)「日本馬術連盟乗馬登録証」の表裏の写し

馬データ

県名		所有者住所	〒
馬名		所有者氏名	
登録番号		連絡先(TEL)	
国体参加歴		所属馬連	

↑ 直近の参加国体名を記入(例:○○国体)

馬インフルエンザ

接種状況	実施年月日			免疫種別
	(年)	(月)	(日)	
1回目				基礎接種
2回目				
令和4年1月1日以降の補強接種を記入してください				補強接種

参考(防疫検査の基準)

	基礎接種	補強接種(初回)	補強接種(2回目～)
H20.3.31以前	2週間以上2か月以内の間に2回	1年以内	年1回
H20.4.1以降	21日以上2か月以内の間に2回	7か月以内	1年以内

最終の接種日	補強接種の場合	令和4年3月13日から入厩8日前まで
	基礎接種(2回目)の場合	※入厩する前1週間以内のワクチン接種は認めない。

馬事衛生業務に係る開催年までの準備スケジュール（案）

その他（2）

細目	2020年（R2）	2021年（R3）	2022年（R4）	2023年（R5）	2024年（R6）	2025年（R7）	2026年（R8）	2027年（R9）
	開催7年前	開催6年前	開催5年前 （開催内定）	開催4年前	開催3年前 （開催決定）	開催2年前	開催1年前	開催年
開催地		三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎
専門委員会	第1回宿泊・衛生専門委員会	第2回宿泊・衛生専門委員会	第1回馬事衛生専門委員会	第2回馬事衛生専門委員会	第3回馬事衛生専門委員会	第4回馬事衛生専門委員会	第5回馬事衛生専門委員会	第6回馬事衛生専門委員会
全体	<p>医事・衛生基本方針</p> <p>各業務（医療救護、防疫、食品衛生、環境衛生）の趣旨、大枠、体制確立について定めるもの。</p>	<p>医事・衛生基本計画</p> <p>「医事・衛生基本方針」に基づき、医療救護、防疫、食品衛生、環境衛生に係る基本的な業務を具体的に示したもの</p>		<p>馬事衛生対策要項の策定</p> <p>「医事・衛生基本計画」に基づき、馬事衛生対策に必要な事項を定めるもの。</p>	<p>馬事衛生対策実施要領の策定</p> <p>馬事衛生対策要項に基づき、馬事衛生対策に必要な具体的な事項を定めるもの。</p>	<p>各種実施要領の策定</p>	<p>各種業務マニュアル等の策定</p> <p>実施本部体制の決定</p> <p>リハ大会人員配置計画</p> <p>リハ大会業務マニュアル作成</p> <p>リハ大会防疫事前指導</p>	<p>実施本部の設置</p> <p>馬事衛生業務の実施（リハ大会・本大会）</p> <p>リハーサル大会</p> <p>課題整理</p> <p>本大会人員配置計画</p> <p>本大会業務マニュアル修正</p> <p>本大会防疫事前指導</p>
方針等				●馬事衛生対策要項	●馬事衛生対策実施要領			
実施体制						○馬事衛生本部体制の検討	○馬事衛生本部人員配置計画	◇馬事衛生実施本部の設置 ◇研修会の実施、大会への従事
防疫対策						●防疫対策業務実施要領	○防疫対策業務マニュアル ○伝染病発生時対応マニュアル	◇防疫対策業務の実施 ◇消毒設備の設置、消毒実施 ◇健康検査の実施
診療・装蹄						●馬診療業務実施要領 ●装蹄業務実施要領	○馬診療業務実施マニュアル ○装蹄業務実施マニュアル ○事故馬発生時対応マニュアル	◇馬診療所、装蹄所の設置 ◇救護獣医師、装蹄師の配置 ◇医薬品等の調達
入退厩						●入退厩業務実施要領	○入退厩業務実施計画 ○馬匹輸送業務実施計画 ○厩舎等衛生管理計画	◇馬輸送、入退厩業務の実施 ◇厩舎衛生管理業務の実施 ◇敷料、飼料の調達、配布 ◇馬糞処理業務の実施

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

※ 先催県を参考に作成したものであり、今後、業務内容やスケジュールの変更もありうる。

（●：審議事項 ○：報告事項 ◇：業務実施）